
*

*

*

*

*

令和 5 年 度

*

*

*

*

*

事 業 報 告 書

*

*

*

*

*

*

*

*

目 次

社会福祉法人 狛江福祉会	1 ページ
特別養護老人ホーム こまえ苑	11 ページ
高齢者デイサービスセンター こまえ苑 ..	25 ページ
地域包括支援センター こまえ苑	42 ページ
居宅介護支援事業所 こまえ苑	49 ページ

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

社会福祉法人 狛江福祉会

*

*

*

*

*

*

*



こまえ苑

*

*

1. 総括

(はじめに)

令和5年度は新型コロナウイルスが5月から季節性インフルエンザと同様の5類へ移行した年でしたが、利用者の安心・安全を第一に考え、やむを得ず一部事業の縮小や休止することもありましたが、基本的な感染対策の徹底、感染対策研修などの実施により事業を継続していけるように努め、感染が拡大していない状況を見て、利用者と接するボランティア活動やクラブ活動、居室での家族面会を再開しました。

新型コロナウイルスなどの感染が発生した際は、保健所からの指示・指導を仰ぎ、施設内での感染を広げないよう務めるとともに、保健所主催の研修会において、これまでの感染対策を発表するなど、保健所と顔と顔が見える関係を構築し協力体制は強化できたと考えています。また、令和3年度の介護報酬改定において令和6年度から義務化された事業継続計画（BCP）策定、高齢者虐待防止の推進、運営規程の改正、人事給与制度の見直しなどに向けて準備を進めてまいりました。

施設の改修及び整備については、令和4年度の2階に続き3階フロア床の張替え、老朽化していたダムウォーターの改修、東京都の高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業補助金を活用し、2階・3階多床室の個室化を行いました。この個室化により利用者のプライバシー保護、感染症が発生した場合でも部屋の移動は基本的には行うことなく対応することで職員の負担軽減にも繋がるものです。また、開設当初から水漏れにより使用できなかった3階浴室の改修について検討を行い、令和6年度に補助金を活用し改修する予定です。

各事業の稼働率などについては、特養（ショートステイ含む。）は95.6%（前年度比-1.0ポイント）となり、感染症の発生によりショートステイの利用者の減少が影響しました。また、特養の待機者を少しでも減少させられるよう、ショートステイを2床減少し、特養を2床増加することを狛江市及び東京都と協議し、令和6年度から定員の変更を行っています。

デイサービスについては、ケアマネ事業所への訪問、郵送による情報提供などにより通所介護は新規利用者の増、長期欠席者の減により75.6%（前年度比+3.6ポイント）となりました。また、利用者が気軽に上半身と下半身のトレーニングができるように、運動機器を2台設置しました。

居宅介護支援事業については、主任介護支援専門員2人、介護支援専門員4人の計6人体制で運営を継続できたことにより、一人あたり平均担当件数32.6件（前年度31.3件）に増え、前年度より収入増となりました。

ホームヘルプ事業については、新規利用者の獲得に力を入れ年間80件の新規依頼を受け、目標値である身体介護3,600時間/年を超える4,700時間となりました。

地域包括支援センター事業については、予防プラン作成が年間約100件増加し、また、昨年3月にオープンした多世代・多機能型交流拠点ふらっとなんぶ事業の委託費により収入増になりました。なお、ふらっとなんぶについては、こまえ苑からは職員1人の配置であったため、こまえ苑エリアのシルバー相談室としての役割が十分果たせないことから、市へ人員増の予算を要望し令和6年度から職員2人体制となっています。

人材の確保については、正規職員の自己都合による退職が1人いましたが、採用については、令和6年4月は介護職員2人、看護職員1人、サービス提供責任者1人を採用、定年退職者3人は再雇用職員として継続雇用することで、介護人材不足の状況下にあっても技能実習生を受け入れることなく人材を確保できているところです。

令和6年度は中長期計画の最終年度になります。これまでの取組を評価・検証を行い、目標の達成に向けて取り組むとともに、令和6年度介護報酬改定で示された質の高い公正中立なケアマネジメント、良質な介護サービスの効率的な提供、感染症や災害への対応力強化に向けて、職員一丸となって取り組んでまいります。

2. 理事会・評議員会の開催状況

理事会・評議員会の開催年月日、議題等は次のとおり。

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
第一回 理事会	令和5年 6月8日 木曜日	(1) 報告事項 報告第1号 令和4年度苦情解決第三者委員取扱いの苦情について 同第2号 介護老人福祉施設等に係る福祉サービス第三者評価受審結果について (2) 議 案 議案第1号 令和4年度事業報告について 同第2号 令和4年度財務報告について 同第3号 社会福祉法人狛江福祉会定時評議員会の招集事項の決定について 同第4号 社会福祉法人狛江福祉会評議員候補者推薦について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第一回 評議員会	令和5年 6月26日 月曜日	(1) 報告事項 報告第1号 令和4年度事業報告について (2) 議 案 議案第1号 令和4年度財務報告について 同第2号 理事及び監事の選任について (3) 協議事項 ① 次回評議員会の開催日程について (4) その他
第二回 理事会	令和5年 6月28日 水曜日	(1) 報告事項 なし (2) 議 案 議案第5号 理事長の互選、理事長の職務代理及び業務執行理事選任について 同第6号 苦情解決第三者委員の選任の同意について 同第7号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業（国基準及び市基準通所型サービス）「こまえ苑」運営規程の一部改正（案）について 同第8号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正（案）について 同第9号 監事交代に伴う社会福祉法人狛江福祉会評議員選任・解任委員の変更について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第三回 理事	令和5年 10月26日 木曜日	(1) 報告事項 報告第3号 各事業上半期利用状況について (2) 議 案 議案第10号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正（案）について

開催年月日		議題・報告事項等
会		(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第四回 理事会	令和6年 1月31日 水曜日	(1) 報告事項 報告第4号 監事監査の結果について 同第5号 多床室個室化改修工事に伴う入札結果について (2) 議案 議案第11号 令和6年度の主要な業務契約について 同第12号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第13号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準通所型サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第14号 令和5年度補正予算(第1号)について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第五回 理事会	令和6年 3月29日 金曜日	(1) 報告事項 なし (2) 議案 議案第15号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑給与規程の一部改正について 同第16号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑就業規則の一部改正について 同第17号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑再雇用就業規則の一部改正について 同第18号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑嘱託職員・臨時職員・パートタイム職員に関する規程の一部改正について 同第19号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 同第20号 令和5年度補正予算(第2号)について 同第21号 令和6年度事業計画について 同第22号 令和6年度予算について 同第23号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正について 同第24号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準通所型サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正について 同第25号 指定訪問介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準訪問サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正について 同第26号 地域包括支援センターこまえ苑(指定介護予防支援事業所)運営規程の一部改正について 同第27号 指定居宅介護支援事業所「こまえ苑」運営規程の一部

開催年月日	議題・報告事項等
	改正について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他

3. 共通部門

(1) 職員の配置状況

令和6年3月31日現在

施設 職種	特別養護 老人ホーム	高齢者デイ サービスセンター	包括支援課	居宅介護 支援事業所	計
施設長	1				1
事務局長	1				1
事務員	2	(1)	(1)		2(2)
生活相談員	1(1)	2 3(兼務再掲)			3(1) 3(兼務再掲)
介護職員	26(16)	8(8)			34(24)
保健師			1		1
看護職員	3(3)	(4)	2		5(7)
管理栄養士	1				1
主任介護支援専門員			1	2	3
介護支援専門員	(1)(兼務再掲)		(3)	2(2)	2(5)
社会福祉士			1		1
精神保健福祉士			1		1
機能訓練指導員	1				1
サービス提供責任者		3(1)			3(1)
ヘルパー		(24)			(24)
運転手	(1)	(6)			(7)
医師	(3)				(3)
居室整備 調理員	(2)		委託		(2)
計	36(26)	13(44)	6(4)	4(2)	59(76)

注：()内は非正規職員の別掲。

(2) 正規職員採用・退職状況

<特別養護老人ホーム>

採用

年月日 職種	令和5年	計	摘 要
	4/1		
介護職員	2	2	
計	2	2	

退 職

職 種	年月日	令和 5 年	計	摘 要
		11/30		
介護職員		1	1	自己都合
計		1	1	

<高齢者デイサービスセンター>

採 用 該 当 な し

退 職

職 種	年月日	令和 6 年	計	摘 要
		3/31		
介護職員		2	2	定年
計		2	2	

<包括支援課・居宅介護支援事業所>

採 用 該 当 な し

退 職

職 種	年月日	令和 6 年	計	摘 要
		3/31		
介護支援専門員		1	1	定年
計		1	1	

(3) 職員研修実施状況

1) 施設外研修

①東京都及び関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
東京都認知症介護実践者研修	5月～7月、10月～12月、12月～2月 (各6日間)	3
東京都認知症介護基礎研修	2月～3月	4
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者研修 (新卒・既卒)	6月、7月、11月 (各2日間)	5
東京都介護支援専門員専門研修課程 I	9月～11月	1
擁護者による高齢者虐待対応研修 (基礎研修)	5月	3
擁護者による高齢者虐待対応研修 (応用A)	10月	
擁護者による高齢者虐待対応研修 (応用B))	3月	
権利擁護テーマ別実践者研修 (第1回、第3回)	6月、10月	1
高齢者虐待防止研修 (居宅系サービス向け)	8月	1
ヤングケアラー支援に係る関係機関合同研修	8月	1
東京都キャラバン・メイト養成研修	9月	1
東京都主任介護支援専門員更新研修	1月～3月	1
東京都地域包括支援センター職員研修 (現任者研修)	10月、11月	2

BCP講座総集編	1月	5
介護現場におけるハラスメント対策説明会	1月～3月	1
東京都チームオレンジ・コーディネーター研修	2月	7

②東京都社会福祉協議会関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
ハラスメント防止講習会 管理職員向け	10/6	1
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ Kコース	11/7	1
東京ケアリーダーズと学ぶ「よりリアル」	1月、3月	3
採用担当者研修・情報交換会	3月	1

③各種研修会等

名 称 等	開催日程	人数
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	5月～	1
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	12月～	2
区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅱ 第2回「通いの場の広報戦略」 第3回「ナッジ」 第6回「多世代共生」	10月～1月	1
東京都認知症地域対応力向上研修	7月	1
年金制度説明会	9月	1
社会福祉士実習指導者講習会	9/23	1
介護福祉士実習指導者講習会	11月～12月	1
介護職員実務者研修	12月～3月	3
精神保健福祉研修（後期）	12/18	1
初学者向けチェックリスト検証研修会	12/16	1
認知症疾患医療センター全国研修会東京大会プレ研修	12月	1
結核予防講演会	1/30	1
長寿社会開発セミナー研究セミナー「こんなときどうする？精神疾患のある方の支援のポイント」	1月～2月	1
認知症ケアにおける地域連携	2/21	1
『眠りSCANを用いた見守り支援システム』導入活用事例	2/7	1
介護職員初任者研修	10月～2月	1

④施設内研修

事業別に実施のため、各事業において記載

(4) 防災関係

消防署の指導による消防訓練を下記のとおり実施した。

回数	年 月 日	訓 練 内 容
1	令和5年4月27日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
2	令和5年5月24日	部分訓練、新人防災講習訓練
3	令和5年6月28日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
4	令和5年7月26日	部分訓練、特養 消火器・消火栓操作訓練
5	令和5年8月23日	部分訓練、全体 屋内消火栓操作訓練
6	令和5年9月27日	部分訓練、火災時の宿直に対する夜間通報訓練
7	令和5年10月25日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
8	令和5年11月22日	部分訓練、特養に対する夜間通報訓練
9	令和5年12月27日	部分訓練、宿直に対する機器取り扱い訓練
10	令和6年1月24日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
11	令和6年2月28日	部分訓練、特養 消火器・消火栓操作訓練
12	令和6年3月27日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練

(5) 地域交流事業

1) 地域交流委員会

地域交流事業は、地域交流委員会が活動を休止していることから、委員会主催の地域交流事業は実施しなかった。

2) こまえ苑広報委員会・広報誌の発行など

5月・8月・11月・1月という年間の発行計画に基づき毎号900部発行することができた。今年度もコロナ禍により地域との交流ができずこれらを記事にすることができなかつたため、施設内で行われたイベントを積極的に掲載して情報発信を行った。

また、ホームページの充実については、広報委員会が中心となり日々の活動・行事の紹介等を更新することにより充実した内容になった。

3) 実習生受入れ状況

学校・施設名	年 月	人数 (1日)	日数	備考
慈恵第三看護専門学校	令和5年4月	1	1	包括
慈恵会医科大学看護学科	令和5年5月	5	3.5	特養
都職場体験事業	令和5年7月～ 令和6年2月	7	1	特養・デイ
狛江第二中学校職場体験	令和5年8月	3	2	デイ
教員免許取得体験研修	令和5年8月～12月	8	5	特養・デイ
東京都介護支援専門員実務研修実習	令和5年8月、令和6年2月	2	5	居宅
喜多見中学校職場体験	令和5年10月	3	3	デイ
狛江第一中学校職場体験	令和5年11月	2	2	デイ

慈恵第三看護専門学校	令和5年11月	1	1	デイ
------------	---------	---	---	----

※上記以外にも、随時実習生を受け入れている。

4) ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、洗濯たたみと園芸ボランティアの活動に加え、休止していた特養喫茶とデイサービスのボランティアを再開した。また、狛江市市民活動支援センターが開催したボランティアラリーの受け入れ先として、特養とデイサービスの傾聴ボランティアの受け入れを実施した。その他のボランティアについては、感染状況を考慮しながら再開に向けて検討していく。今年度の新規ボランティア登録は8人で、活動実績は607回となった。

① 狛江市市民活動支援センターとの連携

ボランティア募集記事の掲載依頼
ボランティアラリーの受け入れ

② ボランティアの募集

地域包括支援センターの協力や、ホームページの掲載により新規のボランティア登録をすることができた

③ ボランティア会議の開催

奇数月第3金曜日に実施

ボランティア活動実績

月 \ 区分	洗濯	特養 (喫茶等)	デイ	園芸	合計
4月	9	0	0	29	38
5月	8	0	2	19	29
6月	9	0	17	28	54
7月	7	0	22	31	60
8月	7	0	29	21	57
9月	15	0	20	17	52
10月	11	7	15	18	51
11月	18	13	18	13	62
12月	11	19	14	17	61
1月	14	10	12	5	41
2月	11	17	14	5	47
3月	11	24	14	6	55
合計	131	90	177	209	607

令和6年3月31日現在 (単位:人)

4. 総務課

(1) 総務係

重点目標や目標に掲げた内容について、職員の退職者は抑えられ新規採用ができたため適正配置することができ、来年度に向け新卒者2人を採用できた。また、特養フロアでクラスターを発生させてしまったが、各新型コロナウイルス感染症補助金等を活用し収益悪化を最小限に食い止めることができた。

1	目 標	法人の使命・経営の理念・ビジョン及び基本方針を理解し、これに基づいた業務基盤の整備・確立を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の設備等の更新に備え計画通り施設・設備整備等積立金を6,155万円を積立てた。 ② 職員個々の研修派遣計画を立て、新卒者2人に初任者階層別研修に参加させるなど、対面研修で参加できるものは対面研修で参加した。 ③ 人材紹介会社等に頼らない人材採用活動を継続できた。また、正規職員の離職率(定年退職者は除く)は1.6%と低下し、来年度の新卒者2人を採用した。 ④ ラクティス(トヨタ)は初年度登録から15年が経過しているが、状態は安定していることから、令和8年度に更新計画を策定した。 ⑤ 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎のクラスターが発生し、ホームページでリアルタイムに情報を公開した。 ⑥ 3階フロアの床の張替えを実施した。また、計画では中央エレベーターを更新することになっていたが、経年劣化の激しいダムウォーターを先行改修し、中央エレベーターは来年度実施していく。 ⑦ 高齢者施設等防災減災対策推進事業補助金(水害対策強化事業)を活用し地下非常用発電機を屋上へ移設を検討したが、維持コストが膨大となることから補助申請をしなかった。 ⑧ 各新型コロナウイルス感染症関連補助金、燃料費・物価高騰対策支援補助金、職場体験助成金、介護職員研修受講費補助金等を申請した。 ⑨ 東京都の高齢者施設等の感染症対策設備整備推進事業補助金を活用し、2階・3階多床室62床の個室化を行った。 ⑩ (公財)JK Aに3階の特殊浴槽を補助申請し採択され、来年度の導入の目途が立った。
2	目 標	効率性・費用対効果を念頭においた課題検討と改善を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 日用品納入業者の見直し、ウェブサイトを積極的に活用して安価な商品を精査することにより経費節減につながった。 ② 特養の見守り支援機器や苑内Wi-Fiを有効活用し、職員の労務負担軽減につながった。 ③ 自主研修制度により、介護職員実務者研修を3人が修了、介護職員初任者研修を2人が修了した。 ④ 光熱費の削減に努めたが、資源価格高騰により光熱費は上昇したため、来年度電気供給会社変更に向け情報収集した。

(2) 栄養係

1	目 標	健康・栄養状態の維持、向上
	評 価	<p>① 一人ひとりの摂食嚥下状態に合わせた食事内容、食事形態で提供した。栄養スクリーニング・モニタリング表を多職種で共有し、多角的視点で改善策を見出した。</p> <p>② 20人に対して療養食を提供し、疾病の悪化進行を緩やかにした。</p> <p>③ 摂食嚥下不良により通常の食事量を喫食することが困難な利用者に対して、食事を濃厚流動食や栄養補助食品等に置き換えた。</p>
2	目 標	食事を通して生きる喜びを感じてもらう
	評 価	<p>① 行事食やバイキング等を実施し、献立はできるだけその季節が感じられるように工夫した。食材の切り方や彩りを考慮し、見た目や食感に変化を持たせるように調理した。</p> <p>② 通常の食事を食べるのが困難になった方でも、最期まで好きなものを楽しめるように、11人の方にお楽しみ食（看取り食）を提供した。</p>
3	目 標	衛生面・安全面の向上、適正なコスト管理、在庫管理
	評 価	<p>① 厨房内は「大量調理施設衛生管理マニュアル」に沿った衛生管理を行い、安全な食事提供に努めた。残菜・残食量を把握し、食材費、廃棄費用のコストの削減に努めた。</p> <p>② これまでも行政の備蓄品寄贈を活用していたが、新たに、フードバンクや食品ロスリポーンセンターと食品の寄贈に関する同意を交わした。それにより15回以上の寄贈を受け、給食として提供することで食材費削減に繋がった。</p> <p>③ 厨房の業務負担とはなったが、デイサービスのお茶の種類を変更し、やかんで厨房から提供することで、大きく占めていたお茶のコスト削減になった。</p> <p>④ 価格上昇の大きかった魚の納入業者を変更し、コスト削減となった。しかし、食材全体の物価上昇が続いているため、今後も作業効率や食材の見直しを進めていく。</p> <p>⑤ 委託会社と消耗品の費用負担を見直し、委託費の適正化を図った。</p>
4	目 標	食事の要望や意見を取り入れ、満足度を向上させる
	評 価	<p>① 食事に関する様々な意見を聞き取り、献立や食事の提供時に反映させた。喫食時には、直接利用者の様子を見たり話を聞いたりする事により、要望に対して迅速に対応することができた。</p> <p>② 食事の満足度調査は聞き取り方式で行った。</p>

1) 栄養の目標（栄養摂取基準）

利用者ごとに個別に設定した給与栄養目標量の平均値に安全率10%を考慮し、こまえ苑の給食栄養目標量とした。

以下には、令和5年度の栄養摂取基準及び栄養出納の平均量を示す。

区分	エネルギー	蛋白質	蛋白質エネルギー比率	脂質エネルギー比率	Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維
単位	kcal	g	%	%	mg	mg	μgER	mg	mg	mg	g
必要量	1,400	60.0	15~20	15~25	600	6.0	450	0.80	1.00	85	15.0
提供量	1,404	60.2	17.2	25.4	587	7.3	549	0.84	1.02	107	13.6

5. 特別養護老人ホーム（ショートステイ含む）

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の流行が4年目に入り、5月8日から季節性インフルエンザ相当の5類へ移行となりましたが、コロナ第9波終わりかけの10月10日に職員の感染から始まり、施設として2回目の蔓延が2階フロアで発生しました。職員は5類移行後の感染対応に戸惑う場面も見られましたが、他のフロアに広げることなく2階フロアで収めることができました。

また、令和6年1月4日にインフルエンザが2階利用者から発症が見られましたが、職員1人含めて9人で収めることができました。また、2月には感染性胃腸炎が2階3階フロアで見られましたが、最小限にとどめることができている。感染症が発生した際には保健所から指導、助言を受け適切な対応にあたり、他のフロアへの感染拡大もなく短期間で収束できたことについては、高く評価されました。

<感染症の状況>

感 染 症	期 間	人 数
新型コロナウイルス感染症	R5/10/10～10/25 15日間	2階利用者23人 職員6人
疥癬	R5/10/17～11/10 24日間	2階利用者1人 新規入所後に発見
インフルエンザ	R6/1/4/～1/16 12日間	2階利用者8人 職員1人
感染性胃腸炎	R6/2/10～2/18 8日間	2階利用者17人 3階利用者7人 職員12人

入退所の状況は、感染の影響も大きくみられ、看取りの方や感染後の体力低下で看取りとなり退所34人と今までにない数で、高齢の要介護4・5の入所者は短期間の入所となってしまう状況でした。感染拡大防止とプライベート空間を保つための多床室の個室化工事を12月から3月で完成させ、部屋移動せず対応できるようになり今後もより一層の感染対応の強化に努めていきます。

<入所者の状況>

年度	入所者数	稼働率
令和4年度	24人	96.5%
令和5年度	34人	95.5%

<看取りの状況>

年度	人数
令和4年度	13人
令和5年度	25人

人材育成について、個人目標を提示させた係長面接実施や年間の必須研修などは、感染症対応に追われていたこともあり、できる範囲での実施となりました。

また、業務改善として、全低床ベッド新規交換事業、見守りシステムによるベッドセンサー、新規ナースコール交換事業及びスマートフォンによるICT（情報通信技術）の導入により、ベッドセンサー機能による転倒防止及び夜間のスマートフォンやパソコン画面で確認できる眠りスキャンによる睡眠の状況や心拍数・呼吸数で利用者の確認ができるようになり、夜間の巡回も1時間に1回から2時間に1回の巡回になり介護負担軽減や事務処理の効率化に繋がりはじめられています。

(1) 重点目標
全職種共通

1	目 標	BCP（事業継続計画）を浸透させるための体制づくり
	評 価	① 計画も大枠は完成。来年度さらに修正する。 ② 担当者を決めていないため、今後全職員への周知が必要。 ③ 10月に水害対策の必要物品の場所と一部の移動を実施し並行して机上訓練も行った。 ④ 感染症に関しては以前よりも内容を大幅に更新した。 ⑤ 感染の広がりから明確な担当決定はできなかった。今後全職員への周知方法を検討する。 ⑥ 変更箇所は随時更新し周知を図った。今後も継続していく。
2	目 標	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
	評 価	① 研修は実施できたが、デスカンファレンスは行えていない。来年度は確実に実施していく。 ② 喀痰吸引を行える職員の拡充は新人職員を除き終了。今後は2階3階フロア共に練度の偏りが出ないようにバランスの良い実施体制の構築が必要。
3	目 標	職員体制の充実により、安定して質の高い介護が提供できる体制づくり
	評 価	① 定期的なマニュアル更新も継続し、教育スケジュールも定着しつつある。内部研修等更に充実させた内容の検討を行っていく。 ② オンライン研修の頻度が増加したことで研修参加が以前より容易になった。今後各受講者による研修発表等アウトプット機会を充実させる必要がある。 ③ 各フロアでの問題解決の為の内部研修、新人に向けたマナー研修等実施。全員参加とはいかないまでも都度アンケート等意見収集等も積極的に行った。 ④ 本年もクラスター感染により予定していたスケジュール通りに研修実施することは困難だった。今後は定期的に研修を行える体制づくり及び周知していく。 ⑤ 研修は一部参加を断念する組み方しかできない状況があった。余暇活動に関しても未実施、外出もコロナ感染等で自粛せざるを得なかった。
4	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 胃ろうについては現状態勢を継続中。在宅酸素、インシュリン等柔軟に受け入れを行うとしているが、今年度は研修を設けるような特殊ケースの利用者はいなかった。
5	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 見守り機器の業者を交えての研修を実施し効率的な使用方法の周知、検討を行っているが精査までには至っていない。不明点に関しては都度確認を取る等情報の周知を実施している。 ② 余暇活動については「喫茶いちょう」を10月より毎週金曜日、「生け花クラブ」を月2回開催。同様に音楽クラブも10月よりフロア別で隔週で開催。感染対策に配慮しながら一部再開に繋がられた。 ③ 事故防止の研修について実施。ICT導入後の課題等も議題とした。 ④ LIFEへの情報収集の精度は高まっている。今後の分担等は未決定の為、一般職へのフィードバック含め検討を行っていく。

	<p>⑤ 入所待機者のアプローチは、使用制限のない場合に関しては積極的な空床利用が行えたが、実際には退苑者の増加や感染症対応により目標には届かなかった。</p> <p>⑥ 紙おむつの精査は、世界的な物価高騰により今後も見直しの必要がある。今年度に関しては紙おむつの業者変更案を見送りとした。</p> <p>⑦ 腰痛対策については、フロアによって介助機器の必要性の意識の差異があり、互いの情報共有を行い、安全な腰痛対策の検討を今後も必要。結果的に腰を痛める職員が出てしまい成果には至らなかった。</p> <p>⑧ 3階入浴実施は、補助事業対象となり来年度浴室完成予定となった。</p>
--	---

ショートステイ

1	目 標	軽度医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 午後入苑について希望に沿って受け入れている。(10件/年) ② 軽度医療のある利用者の受け入れについては、在宅酸素(2人)とインスリン注射(5人)の必要な方について受け入れを実施している。
2	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 入苑時と入浴時に全身観察を行い、全身状態の確認に努めている。 ② 空床ベッドの利用にあたっては、27日/年の利用ができた。 ③ 日々のホームページへの情報の掲示は、実施できなかった。

医務

1	目 標	感染予防・感染拡大防止の強化
	評 価	① 東京都即応支援チームの派遣の指導を受け研修を行った。手洗いの重要性について研修を行った。 ② 感染症の発生をゼロに抑えることはできなかった。
2	目 標	看取り介護の継続
	評 価	① 見取り介護向上委員会が中心となり研修ができた。 ② 医療的ケアについて職員から不安の声は聞かれなかった。口腔ケアについては声掛けを行いながらできた。
3	目 標	「褥瘡ケア」「夜間のたん吸引」の継続
	評 価	① 報告・評価ができなかったが、事故なく行えた。 ② 褥瘡計画を立て実行できた。 ③ 感染症の発生のため、計画通り褥瘡研修はできなかった。 ④ 褥瘡計画の見直しはできた。
4	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① 投薬トレイ・手袋など医療用品の購入は低コストで抑えることができた。 ② 業務マニュアルは完成できなかった。

(2) 年齢別内訳

令和6年3月31日現在(単位:人)

区分	男	女	計	構成比(%)
64歳以下	0	0	0	0.0
65~69歳	1	0	1	1.3
70~74歳	1	2	3	3.9

75～79 歳	3	3	6	7.8
80～84 歳	8	13	21	27.2
85～89 歳	5	15	20	26.0
90～94 歳	4	15	19	24.7
95～99 歳	0	7	7	9.1
100 歳以上	0	0	0	0.0
合計	22	55	77	100.0
最高年齢	92 歳	99 歳		
最低年齢	67 歳	71 歳		
平均年齢	82.7 歳	87.3 歳	86.0 歳	

(3) 在苑期間の状況

令和6年3月31日現在 (単位:人)

区分	男	女	計	構成比 (%)
～1年未満	10	12	22	28.5
1年以上～2年未満	3	11	14	18.1
2年以上～3年未満	0	7	7	9.0
3年以上～4年未満	5	4	9	11.6
4年以上～5年未満	1	4	5	6.5
5年以上～6年未満	0	2	2	2.6
6年以上～7年未満	0	3	3	3.9
7年以上～8年未満	0	3	3	3.9
8年以上～9年未満	2	6	8	10.3
9年以上～10年未満	0	1	1	1.3
10年以上	1	2	3	3.9
合計	22	55	77	100.0

(4) 退所者の状況

令和5年度

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
女	91 歳	R5.4.6	4年	0ヵ月	死亡
女	89 歳	R5.4.10	3年	2ヵ月	死亡
男	99 歳	R5.4.18	0年	10ヵ月	死亡
男	89 歳	R5.4.21	2年	5ヵ月	死亡
男	84 歳	R5.6.19	3年	2ヵ月	死亡
女	90 歳	R5.6.29	0年	4ヵ月	死亡
男	83 歳	R5.7.10	0年	3ヵ月	死亡
女	96 歳	R5.7.11	11年	8ヵ月	死亡
女	84 歳	R5.7.17	2年	3ヵ月	死亡
女	83 歳	R5.8.6	5年	2ヵ月	死亡
男	78 歳	R5.8.17	0年	3ヵ月	死亡

女	97歳	R5.9.8	3年	9ヵ月	死亡
女	99歳	R5.9.19	0年	1ヵ月	死亡
女	91歳	R5.10.17	0年	1ヵ月	死亡
男	91歳	R5.10.22	0年	7ヵ月	死亡
男	92歳	R5.10.23	3年	9ヵ月	死亡
女	81歳	R5.10.25	12年	4ヵ月	死亡
男	74歳	R5.11.4	0年	11ヵ月	死亡
男	87歳	R5.11.7	2年	11ヵ月	死亡
女	88歳	R5.11.10	8年	6ヵ月	死亡
女	91歳	R5.11.20	2年	7ヵ月	死亡
女	97歳	R5.11.22	5年	0ヵ月	死亡
男	99歳	R5.11.23	0年	17日	死亡
女	91歳	R6.1.4	1年	1ヵ月	死亡
男	82歳	R6.1.6	2年	7ヵ月	死亡
女	92歳	R6.1.12	0年	1ヵ月	死亡
男	85歳	R6.1.31	1年	0ヵ月	死亡
男	77歳	R6.2.4	0年	8ヵ月	死亡
男	88歳	R6.2.20	0年	5ヵ月	死亡
男	82歳	R6.2.22	0年	3ヵ月	死亡
女	88歳	R6.3.10	1年	0ヵ月	死亡
女	88歳	R6.3.11	3年	9ヵ月	死亡
女	91歳	R6.3.22	0年	4ヵ月	死亡
女	94歳	R6.3.25	5年	11ヵ月	死亡

*内訳 死亡による退所 34人(男15人、女19人)
 居宅へ戻る 0人(男0人、女0人)
 合計 34人(男15人、女19人)

(5) ADLの状況

1) 要介護度分布

令和6年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	10	10	22
女	2	2	9	23	19	55
計	2	0	15	33	29	77
構成比(%)	2.5	2.5	14.2	42.8	37.6	100.0

2) ADL(日常生活動作)の状況

区分	J	A	B	C	合計
人数	1	22	42	12	77
構成比(%)	1.2	28.5	54.5	15.5	100.0

注：分類の基準「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。
ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。
ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。

3) 認知症の程度

区分	自立	I	II	III	IV	M	合計
人数	0	4	17	26	28	2	77
構成比 (%)	0	5.1	22.0	33.7	36.3	2.5	100.0

注：分類の基準「認知症高齢者の日常生活自立度」

I	何らかの認知障害を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(6) 利用者の日常生活

1) 行事实施状況

開催月日	行事名	内容等
5月4日～6日	菖蒲湯 端午の節句	入浴日に合わせて湯船に菖蒲を浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。5日には飾っていた兜の前で合唱、食堂も飾りつけを施し季節感を楽しんだ。
7月7日	七夕	各フロアに笹を準備し、願い事を書いた短冊や飾りを下げ「七夕のうた」を歌唱した。
8月9日	花火大会鑑賞	狛江市の花火大会を屋上で鑑賞した。
9月6日	敬老会	昼食に祝い膳を提供、午後から各フロアの食堂にてお祝い会。(今年の贈答品はファイヤースティック。各フロアで動画視聴に大いに役立った)
9月30日	こまえ苑祭	コロナ禍により前年同様室内フロア別での開催(今年は利用者家族も参加)。午前中に神輿やサンバパレード、昼食はお重を提供。午後は各フロアで噴火ゲームやジャグリングショーなどを実施し利用者、家族とともに楽しむ時間を過ごし盛況を呈す。

12月20日	年忘れ クリスマス会	今年もコロナ感染の為各フロア別での開催。クリスマスの飾りつけをして、クリスマスメニューの食事や2階では健康体操、3階では職員の扮装による寸劇などで楽しみながら、一年を締めくくった。
12月21日～23日	ゆず湯	今年も入浴日に合わせて湯船にゆずを浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。
1月1日	初詣	ふれあいホールに模擬神社を設営しフロア別に初詣を実施。昼食には祝い膳を提供した。
1月10日	もちつき大会	3階フロアでインフルエンザ感染発生のため中止した。
2月3日	豆まき	フロアごとに実施。豆まきを行い、職員が鬼の扮装をして各居室の練り歩きを行った。
3月3日	ひな祭り	フロアごとにひな人形を飾り、職員と一緒に春にちなんだ歌を合唱した。

2) 生花クラブ

第2・4金曜日 10:20～11:20 開催

3) 音楽クラブ

コロナ禍であり自粛していたが10月より再開。毎週木曜日 10:20～11:20

4) 散歩・買物・カラオケ

買い物に関しては、金銭取り扱い上の変更により10月から中止し職員が個別に買い出しを行っているが今後の運用は未定。苑外での散歩についてはコロナ禍であり自粛している。主に日曜日にベランダでの外気浴やカラオケを実施した。

5) 個別外出の実施

コロナ禍であり自粛している。

6) 理美容実施状況

① 理容

○ 実施日 … 毎月1回、第4月曜日（原則）

○ 費用 …… 2,200円（散髪のみ）・1,200円（顔剃りのみ）・2,700円（セット）

○ 協力 …… 東京都理容環境衛生同業組合 武蔵調布支部（毎回2～3人）

○ 月別実施人数（特養利用者） () 内はSS利用者

月	人数	月	人数
4月	10	11月	11
5月	14 (1)	12月	12
6月	12	1月	7
7月	10 (1)	2月	14
8月	11 (1)	3月	11
9月	11	合計	123 (3)
10月	0	月平均	11

* 10月は新型コロナウイルス感染症発症のため中止

② 美容

○ 実施日 … 偶数月1回、第3木曜日（原則）

○ 費用 …… 2,750円（カット）・8,800円（パーマ、マニキュア）

○ 協力 …… ディチャーム株式会社（毎回2～3人）

○ 月別実施人数（特養利用者）

（ ）内はSS利用者

月	人数（カッコ内含む）	月	人数（カッコ内含む）
4月	20（パーマ等0）（1）	10月	0（パーマ等0）
5月	23（パーマ等0）	11月	35（パーマ等1）（1）
6月	27（パーマ等1）	12月	30（パーマ等1）
7月	29（パーマ等0）	1月	22（パーマ等0）（2）
8月	28（パーマ等1）	2月	24（パーマ等0）
9月	13（パーマ等0）	3月	42（パーマ等1）（1）
合計	293（パーマ等5）	別途SS利用者	5
平均	24/月		

* 10月は新型コロナウイルス感染症発症のため中止

（7）家族との連携

- 1) 行事関係：こまえ苑祭りへの参加 9月30日（土）実施 25家族 25人参加
（感染症対策のため参加人数制限あり）
- 2) 利用者家族懇談会への参加 9月9日（土）実施 17家族 23人参加

（8）医療と看護

利用者の健康管理とともに、安全で快適な日常生活が送られるよう看護サービスの充実に努めた。

1) 入苑時健康管理

- ① 入苑後の嘱託医による診察を実施。
- ② 入苑日より3日間はバイタルチェックを行い、利用者の健康レベルの把握を行っている。

2) 利用者健康診断と歯科健診

- ① 6月に健康診断を実施。採血・レントゲン・心電図・尿検査ができた。
- ② 8月に狛江市歯科医師会による歯科健診を実施。また、歯科医師往診により通院が困難な利用者の歯科治療を行っている。

3) 感染症に対する取り組み

感染症に対しては、手洗い・うがい・体温測定の徹底を基本としている。

《新型コロナウイルス感染症》

令和5年10月10日～10月20日まで新型コロナウイルス感染症が第9波の中で集団発生した。日々の感染症対応について保健所と情報を共有し、情報の更新を行いながら対応を実施。対応する職員を固定し、極力居室の中で生活全般を完結させるなど対応を行った。また、東京都の高齢者等医療支援施設を活用した。結果、単一フロアのみで死亡者を出さず収束させることができた。

- ① 情報を取り入れ、産業医・嘱託医と相談しながらマニュアルを作成し、研修の中で周知徹底した。
- ② 発熱者については、嘱託医の指示のもと速やかに抗原検査を実施した。
- ③ 面会については、オンラインやベランダ、対面での面会を6月4日まで継続。6月5日以降はベランダ、対面での面会を終了し居室での面会を開始した。1家族2人までとし、30分間・予約制・年齢制限を設け問題なく実施できた。オンライン面会は継続している。（看取り介護対象の方の面会は制約なく可としている）
- ④ コロナワクチン接種は6回目（R5/5）、7回目（R5/10）の時期にほぼ全ての利用者が終了している。

《感染性胃腸炎・疥癬・インフルエンザ・新型コロナウイルス》

- ① 10月新型コロナウイルスが発生し入所者と職員合わせて29人が感染。5類に移行し隔離期間を5日間としたことや、治療薬が処方されたため重症化した利用者は出ずに15日間で収束した。
- ② 11月入所者1人が疥癬と診断されたが、他の利用者や職員への感染はなく2週間で収束した。
- ③ 1月に3階フロアでインフルエンザが発生し、利用者と職員合わせて9人が感染し12日間で収束した。
- ④ 2月に2階、3階フロアで感染性胃腸炎が発生し、入所者と職員合わせて36人が感染した。
- 4) 肺炎球菌ワクチンの接種について
- ① 今年度は23人が接種した。
- 5) 嘱託医による施設内の診察状況（別表参照）
- 6) 他の医療機関による診療状況（別表参照）
- 7) 入院医療機関の利用状況 (単位：人)

病院名	延人員	病院名	延人員
慈恵医科大学付属第三病院	4	奥 沢 病 院	1
日産厚生会玉川病院	11	東 京 医 療 セ ン タ ー	1
世田谷記念病院	1	東 山 病 院	1
世田谷中央病院	3	至 誠 会 第 二 病 院	1
関 東 中 央 病 院	2	合 計	25

8) 入退院の状況 (単位：人)

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上	合計
入院者実数	21	4	0	0	25

(9) リハビリテーションとマッサージ

- 1) 機能訓練、嚥下マッサージについて
- 月曜日から金曜日まで、機能訓練指導員において、マッサージ及び可動域訓練などの機能訓練を行っている。また、昼食前に誤嚥予防の観点から嚥下マッサージを実施している。
- 2) リハビリテーションについて
- 機能訓練指導員が、作業療法士（OT）から引き継ぐ形で個別リハビリを行なっている。なお、集団体操は、機能訓練指導員との連携のうえ水曜日にリハビリ担当が中心になり実施し、より多くの利用者にもリハビリの機会を設けている。
- 3) 個別機能訓練実施計画書について
- 3ヵ月に1回の評価を行い、個々のニーズに則した計画を作成している。変化に即した計画の変更を実施している。

<リハビリ・マッサージ実施延人数>

令和5年度（単位：人）

月	個別リハビリ	機能訓練	嚙下
4月	33	298	40
5月	29	280	38
6月	26	318	30
7月	38	293	20
8月	28	306	20
9月	28	276	19
10月	25	297	20
11月	30	286	19
12月	29	308	19
1月	18	160	15
2月	22	206	16
3月	31	318	21
総計	337	3,346	277

- * 12/23, 27, 29, 30, 31～1/5 正月休み 1/16～31 3階コロナ感染対応のため未実施
2/1～14 3階コロナ感染のため未実施
- * 集団体操は各フロアにてその月ごとに不定期で実施。健康体操のDVDを視聴しながら行ったり、歌唱の頻度を上げて行ったり柔軟に対応した。

嘱託医による施設内の診察状況(令和5年度)

(単位:人)

区分 月	内科		精神科		整形外科		皮膚科		歯科往診		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	79	139	8	18	0	0	8	8	0	0	95	165
5月	76	133	11	11	0	0	8	8	0	0	95	152
6月	78	172	12	12	0	0	7	7	2	2	98	193
7月	78	137	11	11	0	0	6	6	7	7	102	161
8月	80	159	11	11	0	0	6	6	0	0	97	176
9月	79	179	13	13	0	0	6	6	6	6	104	204
10月	77	177	14	25	0	0	10	10	0	0	101	212
11月	74	153	11	11	0	0	6	6	0	0	91	170
12月	80	120	10	10	0	0	7	7	2	2	99	139
1月	77	136	10	10	0	0	7	7	0	0	94	153
2月	77	171	10	10	0	0	8	8	0	0	95	189
3月	79	117	12	12	0	0	9	9	0	0	100	138
合計	934	1,793	133	154	0	0	88	88	17	17	1,171	2,052

他の医療機関による診療状況(令和5年度)

(単位:人)

区分 月	内科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		婦人科		泌尿器科		精神科		眼科		歯科		合計		救急車による搬送		
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
4月	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	3	3
5月	3	3	0	0	2	2	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	9	9	2	2
6月	4	4	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	10	10	1	1
7月	3	3	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	12	12	1	1
8月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3	1	1	
9月	4	4	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	6	6	14	14	1	1	
10月	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	
11月	7	9	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	12	3	3	
12月	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	7	7	2	2	
1月	4	4	0	0	2	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	2	2	
2月	4	4	0	0	2	2	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	11	0	0	
3月	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	
合計	40	42	1	1	15	17	0	0	13	13	3	5	0	0	2	2	3	3	0	0	17	17	93	100	20	20	

特別養護老人ホーム・ショートステイ(88床)合算 事業実績

稼働率目標値:98%

延利用日数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	60	65	62	187	64	69	67	200	387
要介護 2	109	106	103	318	108	93	83	284	602
要介護 3	376	407	408	1,191	427	459	403	1,289	2,480
要介護 4	1,044	1,101	1,065	3,210	1,090	1,095	1,110	3,295	6,505
要介護 5	920	914	900	2,734	951	932	914	2,797	5,531
特養+SS計	2,509	2,593	2,538	7,640	2,640	2,648	2,577	7,865	15,505
月間定員(日数×88)	2,640	2,728	2,640	8,008	2,728	2,728	2,640	8,096	16,104
稼働率(88床)	95.0%	95.1%	96.1%	95.4%	96.8%	97.1%	97.6%	97.1%	96.3%

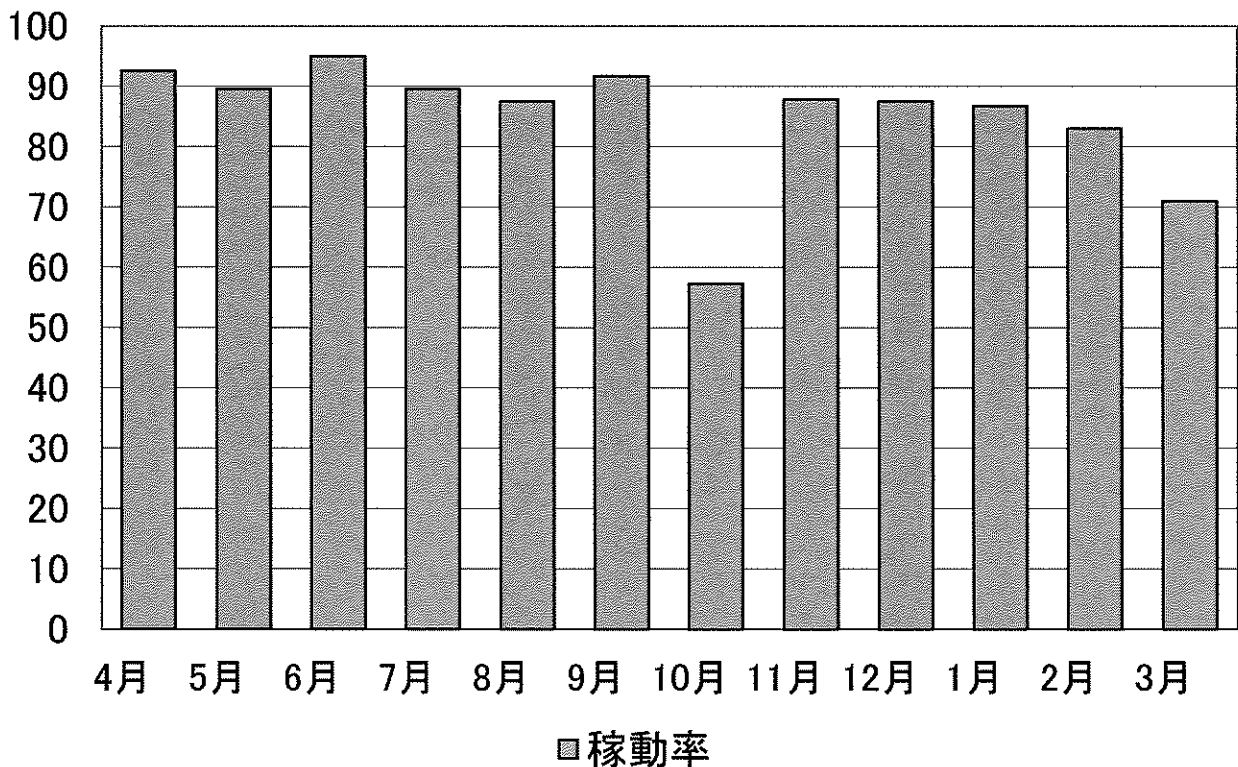
23

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4
要介護 1	62	67	69	198	67	61	62	190	388	775
要介護 2	78	100	101	279	88	83	90	261	540	1,142
要介護 3	398	406	448	1,252	447	423	427	1,297	2,549	5,029
要介護 4	1,052	1,009	1,049	3,110	1,071	1,011	1,057	3,139	6,249	12,754
要介護 5	941	876	995	2,812	912	847	938	2,697	5,509	11,040
特養+SS計	2,531	2,458	2,662	7,651	2,585	2,425	2,578	7,588	15,239	30,744
月間定員(日数×88)	2,728	2,640	2,728	8,096	2,728	2,552	2,728	8,008	16,104	32,208
稼働率(88床)	92.8%	93.1%	97.6%	94.5%	94.8%	95.0%	94.5%	94.8%	94.6%	95.5%

ショートステイ 利用定員8人

区分 月	実利用者数(人)			延利用者日数(日)			実施日数 (日)	1日平均 利用者数(人)	摘要
	男	女	計	男	女	計			
4月	11	19	30	89	139	228	30	7.6	
5月	11	21	32	74	148	222	31	7.2	
6月	15	18	33	95	133	228	30	7.6	
7月	14	20	34	96	126	222	31	7.2	
8月	9	19	28	78	139	217	31	7.0	
9月	11	22	33	58	138	196	30	6.5	
10月	5	19	24	56	86	142	31	4.6	
11月	7	22	29	61	150	211	30	7.0	
12月	11	26	37	77	140	217	31	7.0	
1月	9	23	32	72	143	215	31	6.9	
2月	11	15	26	85	101	186	29	6.4	
3月	8	19	27	46	130	176	31	5.7	
合計	122	243	365	887	1,573	2,460	366	6.7	
前年度比%	96.83	98.78	98.1	96.41	94.76	95.35	100.3	94.7	
令和4年度計	126	246	372	920	1660	2580	365	7.1	
令和3年度計	105	238	343	914	1774	2688	365	7.4	
令和2年度計	94	228	322	723	1632	2355	365	6.5	

ショートステイ稼働率(特養空きベッド利用含む)(%)



6. 高齢者デイサービスセンター

通所介護と認知症対応型通所介護は前年度の稼働率を上回りましたが、日常生活支援総合事業は前年度を下回る結果となりました。送迎範囲の拡大や営業活動により、世田谷区の居宅介護支援事業所の利用者や市内の遠隔地の利用者も増えました。スポット利用や追加利用が前年度の倍以上がありました。日々の活動プログラムの充実と各職員の接遇力の向上が要因であると実感できました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類となりましたが、マスク着用の促し、アクリル板の設置、活動物品の消毒、席の間隔を空けるなどの感染症予防対策を継続して、サービスを提供しました。このような状況でもボランティアの一部受け入れの再開や講師を招いての音楽クラブを開始することができました。

来年度はより多くの新規利用者の開拓を目標に、利用者の見学とともに各居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けの見学会を計画します。

1	目 標	サービス内容の充実を図る																								
	評 価	<p>① 砧音楽療法研究会の野田講師による音楽クラブを実施している。創作活動の種類に変更はないが、各活動すべてにおいて好評を得ている。</p> <p>② 日々の昼食前の口腔体操を継続して実施ができた。おいしく食事ができるよう口腔機能維持向上に役立っている。</p> <p>③ 入浴サービスにおいては、業務分担を見直し、午後も入浴時間を設定している。年間延べ人数では、前年度 3,634 人に対して、今年度 4,228 人に増加した。1日 16 人から 18 人と登録人数を増やしている。</p> <p>④ 車いすから肘かけ椅子への移乗、廊下歩行、導入を開始したマシントレーニングなど、利用者一人ひとりに適した機能訓練を実施している。</p>																								
2	目 標	認知症の方に対する対応能力、介護技術を身につけるとともに、働きがいのある職場を目指す																								
	評 価	<p>① 職員会議において、職員主催の研修を実施し、認知症の理解や利用者別の適した介護技術などを学びあうことができた。</p> <p>② 苑会議や管理職係長合同会議での議事内容を周知し、法人職員としての役割を伝えている。</p>																								
3	目 標	様々な環境を持つ方の受け入れを行い、稼働率の安定、向上を目指す																								
	評 価	<p>① 新規利用調整に関しては、見学調整から利用開始の意向に沿う対応を行った。毎月居宅介護支援事業所へは訪問確認を行い実施した。</p> <p>※利用者数の数値目標（稼働率）に関しては、目標値達成はできなかったが、改善された。()は前年度の実績。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>日平均利用数</th> <th>利用開始数</th> <th>利用終了数</th> <th>延べ欠席数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><基本></td> <td>26.4 (24.8)</td> <td>44 (40)</td> <td>44 (35)</td> <td>1,392 (1,198)</td> </tr> <tr> <td><総合事業></td> <td>2.3 (3.3)</td> <td>7 (6)</td> <td>7 (6)</td> <td>153 (171)</td> </tr> <tr> <td><基本+総合事業></td> <td>28.7 (28.1)</td> <td>51 (46)</td> <td>51 (41)</td> <td>1,545 (1,339)</td> </tr> <tr> <td><認知症対応型></td> <td>6.9 (5.7)</td> <td>15 (10)</td> <td>14 (10)</td> <td>352 (618)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 在宅酸素、インスリン注射、尿カテーテル利用者の受け入れができています。</p> <p>③ 業務シフトごとのマニュアルの点検と見直しを行い、全職員に周知が出来ている。</p> <p>④ 算定要件に当てはまる加算は取得できている。</p>	事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数	<基本>	26.4 (24.8)	44 (40)	44 (35)	1,392 (1,198)	<総合事業>	2.3 (3.3)	7 (6)	7 (6)	153 (171)	<基本+総合事業>	28.7 (28.1)	51 (46)	51 (41)	1,545 (1,339)	<認知症対応型>	6.9 (5.7)	15 (10)	14 (10)
事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数																						
<基本>	26.4 (24.8)	44 (40)	44 (35)	1,392 (1,198)																						
<総合事業>	2.3 (3.3)	7 (6)	7 (6)	153 (171)																						
<基本+総合事業>	28.7 (28.1)	51 (46)	51 (41)	1,545 (1,339)																						
<認知症対応型>	6.9 (5.7)	15 (10)	14 (10)	352 (618)																						

(1) 事業活動状況

1) 通所介護、総合事業での活動

<活動メニュー>

体操・カラオケ・書道・頭の体操・テーブルゲーム・歌の会・手工芸・壁面装飾・レクリエーションゲーム

<評価と課題>

活動については大きく4つの要素の活動に分け、①身体機能の維持向上を図る体操。②レクリエーション要素のゲーム、テーブルゲーム、頭の体操。③創作、文化活動として、手工芸、カレンダー製作、壁面装飾、書道。④音楽活動として、カラオケ、歌の会。この4つの要素の活動をバランスよく計画し、各実施日担当職員を中心に、新しいゲームの考案や内容の改善に取り組んだ。

また、手工芸やカレンダー製作については、準備作業の部分（パーツの切り分け作業などを中心）も、希望する利用者に行うことで、その満足感も、作品の完成だけで終わらせず、一連の作業を含め、達成感を感じていただいている。

前年度に引き続き、持ち帰り作品や季節に応じた壁面装飾の活動に様々な職種の職員が関わって企画することで、より多彩でクオリティーの高いものが提供できている。

2) 認知症対応型通所介護での活動

認知症特有の症状がある高齢者を対象に、明るくゆったりとした環境をつくり、情緒の安定と心身機能の維持・向上を目的とした援助に努めた。紐巻きやパズル、塗り絵などを取り入れた機能訓練や、長い廊下を生かした歩行訓練も実施している。今年度は加えてマシントレーニング機器を活動の中で取り入れ、無理のない範囲での体力維持活動を行っている。また、日常生活に即した作業（タオル畳み・テーブル拭き）、手工芸などの作業も取り入れている。

<評価と課題>

いつもの場所で、いつもの活動を、いつものメンバーと過ごせる落ち着いた環境づくりに注力し、安心して通っていただける場所として利用者に受け入れていただいている。余暇の時間の充実を図り、利用者同士の交流も兼ねるテーブルゲームや合唱などで楽しめる雰囲気づくりに注力した。加えて個別性を考慮し、その方の気持ちに寄り添った活動を提供した。利用者の心身の変化、ニーズに即した活動を提供できるよう職員間で情報共有に努め、日々のケアに生かしていきたい。

3) 入浴

利用者の健康状態に合わせ、特殊浴槽・一般浴槽での柔軟な対応を行っている。利用回数に関わらず希望される利用者に週2回の入浴日を設け、実施している。また、入浴サービス開始時及び1年ごとに、主治医からの身体状況に関する情報を提出していただき、健康チェック・感染症予防や急変防止に努めた。

<評価と課題>

定員を18名に増やし、入浴希望のある方の受け入れも多くなるようになった。ただし、特定の曜日は定員人数に達しており、待機していただいている。

4) 食事

食事形態の変更や自助食器の提供などの利用者の状態に合わせた個別対応を実施している。ソフト食も含め身体状況に合わせた特殊調理を施した食事の提供も行っている。誕生会のある週には、特別感のあるケーキ、行事ではテーマに合わせた食事やおやつを提供している。毎月一日は赤飯を提供している。

今年度も好評であったイベント食【寿司バイキング】を実施し、利用者の目の前で寿司を握り、提供することができた。「アナゴや玉子がおいしかった」との声も多く聞かれた。

水分提供については、今年度は一日通して麦茶の提供を実施している。

<評価と課題>

利用者の嗜好による要望等についても細やかに対応することができた。来年度も食事に対する日々の意見を取り入れられるように心がけていく。昨年に引き続き麦茶の提供を行い、より一層脱水予防に努める。

5) 健康チェック・機能減退防止・健康増進

利用者の高齢化が進み、独居又は高齢者のみ世帯の利用者が増えている。それに伴い医療行為を必要とする利用者も多くなってきている。自己管理が難しい利用者の薬を預かる等、服薬支援を行っている。血糖値測定、インスリン注射、尿カテーテル等、専門職としてのアドバイスを利用者や家族に行っている。MCSによる情報共有は、利用者の状態把握とタイムリーな連携に大変役立っている。

<評価と課題>

利用者の情報収集を行うとともに、バイタル測定や状態観察を行い、健康管理に留意している。利用者家族、関係職種・事業所等との連絡を行い、利用中の健康状態や異常の早期発見に努めている。訪問医を導入する利用者が増え、在宅での看取りを希望する家族も増えているため、受け入れ体制も整えている。

毎月の体重測定により、利用者の状況把握と情報提供がタイムリーにできている。また、利用者の状態により主治医から求められた場合には、毎週の体重測定を行い随時報告している。

6) 送迎

デイサービス及び一部のショートステイの利用者に自宅までの送迎を実施している。送迎範囲を市内の遠隔地や世田谷区喜多見1～5丁目と7丁目までに拡大している。可能な限り個別ニーズに沿ったサービスを提供している。

ショートステイやレスパイト入院で頻繁に欠席される方がおり、通常の送迎車ではなく軽自動車による個別対応を開始した。これにより、その枠を他の方に利用することができ、効率性を図ることができた。

<評価と課題>

送迎時間に指定のある方や、長時間の利用が難しいと思われる方には、遅い時間の迎え、早い時間の帰宅とするなど、できる限りの対応を行っている。近隣の利用者で固めるなどの送迎順の見直しが喫緊の課題である。

7) デイサービスでの1日

- 9:00 ～ 利用者到着・健康チェック・水分補給
- 10:30 ～ 朝の会・活動
- 12:15 ～ 昼食
- 13:00 ～ コーヒータイム・談話
- 14:00 ～ 活動
- 15:15 ～ おやつ・水分補給
- 16:10 ～ 1便出発・第三活動

(2) 講師によるクラブ活動

感染症予防対策を実施しながら砧音楽療法研究会の野田講師による音楽クラブを開始した。

<評価と課題>

音楽クラブは月に1回、利用者が均等に参加できるよう、毎月曜日を変えて実施している。

行事実施状況

	行事名	内 容
7月	納涼祭	<p>2日間で実施。午前中に体操を行い後半にスイカ割りを行った、スイカ割担当職員によるスイカマンと称したコスプレ衣装での登場は利用者の笑顔を大いに引き出していた。</p> <p>昼休みには職員が祭り半纏などを着用して利用者の自席を回り、お祭りの縁日的余興としてくじ引きを行った。景品は大当たり・中当たり・小当たりの三種類を用意している。</p> <p>午後は「納涼演芸大会」と称し、事前に職員・利用者から参加者を募り、カラオケ・合奏・ダンス等で大いに盛り上がっていた。</p> <p>昼食は松花堂弁当を提供した。飲み物は、りんごジュース、オレンジジュース、冷たいお茶、ノンアルコールビールを提供し、利用者が選べる選択制とした。お祭りの雰囲気を出すように、装飾やBGM祭り半纏や豆絞りも使用している。</p>
9月	敬老会	<p>2日間で実施。「一人ひとりにお祝い品の贈呈」、「世界の国からこんにちは」の替え歌を職員余興として行った。「狛江市の風景の歴史を振り返るビデオ上映として狛江市立図書館に許可を得てホームページ上の写真資料で利用者が活躍されていた時代の映像を見ていただく時間」を提供した。</p> <p>昼食は敬老祝い膳、納涼祭に続きジュースなどの飲み物を提供した。今年のお祝い品は「ポーチ in バッグ」をお贈りした。</p>
1月	新年会	<p>2日間で実施。お正月らしさの共有をテーマに【獅子舞】【南京玉すだれ】【福笑い】【二人羽織り】を実施した。利用者からは久しぶりに大笑いしたわ！など楽しまれた様子が伺えた。最後に「一月一日」を合唱し職員からの新年の挨拶を行った。</p> <p>昼食は、赤飯、天ぷら、お刺身、おせち盛り合わせなど、新年にふさわしいものを提供し完食者多数の高評価だった。</p>

<評価と課題>

今年度も利用者参加型の企画を考案し大変好評をいただいた、今後は単調化しないようボランティアの受け入れも検討する。

(3) 家族懇談会

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	令和5年5月27日(土)	令和5年10月12日(木)
参加家族数	16人	16人
開催内容	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ	①苑長挨拶・職員自己紹介 スライド鑑賞 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ

<評価と課題>

今年度は3年半ぶりに家族懇談会を開催できた。久しぶりの開催で初めて参加される方も多く、普段出来ない家族同士の意見交換の場として有意義な交流の機会となった。今後意見交換に加え、ご家族にアンケートを取り、情報発信が出来るよう企画していく。

(4) 運営推進会議（認知症対応型通所介護）

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	令和5年6月20日（火）	令和5年11月14日（火）
出席者	利用者、家族、地域の代表者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所職員2名、事業所代表者 事業所管理者	地域の代表者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所職員2名、事業所代表者、事業所管理者
主な内容	①サービス提供内容について ②利用者数等の事業実績について ③その他意見交換	

<評価と課題>

今年度の運営推進会議は、3年ぶりに対面での開催となった。地域の現状を共有し、今後地域とどのように密着した関わりを深めていくか出席者で意見交換を行った。こまえ苑認知症対応型通所介護では新規利用が増え、ニーズがあることを報告した。来年度も近隣エリアのみならず、遠方の利用者の受け入れなど柔軟に対応できるよう体制を整えていくことが課題である。

サービス実績報告(通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス)
 利用率目標値:750人以下/月 (1日29人) 利用定員:1日35人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	201	236	251	688	250	268	268	786	1,474
要介護2	166	172	150	488	153	172	168	493	981
要介護3	112	129	120	361	111	125	125	361	722
要介護4	48	63	65	176	77	68	68	213	389
要介護5	50	52	51	153	47	56	54	157	310
合計	577	652	637	1,866	638	689	683	2,010	3,876
稼働日数	25	27	26	78	26	27	26	79	157
月間定員(日数×定員)	875	945	910	2,730	910	945	910	2,765	5,495
利用率	65.9%	69.0%	70.0%	68.4%	70.1%	72.9%	75.1%	72.7%	70.5%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	218	264	243	725	244	262	278	784	1,509	2,983
要介護2	182	182	166	530	156	167	163	486	1,016	1,997
要介護3	135	135	149	419	151	153	160	464	883	1,605
要介護4	60	88	78	226	82	95	88	265	491	880
要介護5	73	65	60	198	54	60	59	173	371	681
合計	668	734	696	2,098	687	737	748	2,172	4,270	8,146
稼働日数	26	26	24	76	24	25	26	75	151	308
月間定員(日数×定員)	910	910	840	2,660	840	875	910	2,625	5,285	10,780
利用率	73.4%	80.7%	82.9%	78.9%	81.8%	84.2%	82.2%	82.7%	80.8%	75.6%

デイサービス実績報告(総合事業・市基準通所型サービスA)

利用率目標値:750人以下/月 (1日5人)

利用定員:1日5人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	20	27	19	66	22	21	23	66	132
要支援1	4	9	6	19	12	9	4	25	44
要支援2	32	34	37	103	36	39	43	118	221
合計	56	70	62	188	70	69	70	209	397
稼働日数	25	27	26	78	26	27	26	79	157
月間定員(日数×定員)	125	135	130	390	130	135	130	395	785
利用率	44.8%	51.9%	47.7%	48.2%	53.8%	51.1%	53.8%	52.9%	50.6%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	17	20	19	56	19	12	18	49	105	237
要支援1	3	5	2	10	5	7	2	14	24	68
要支援2	27	31	19	77	15	17	21	53	130	351
合計	47	56	40	143	39	36	41	116	259	656
稼働日数	26	26	24	76	24	25	26	75	151	308
月間定員(日数×定員)	130	130	120	380	120	125	130	375	755	1,540
利用率	36.2%	43.1%	33.3%	37.6%	32.5%	28.8%	31.5%	30.9%	34.3%	42.6%

デイサービス実績報告(認知症対応型)

利用率目標値:1日平均8人以上

利用定員:1日10人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	31	33	19	83	26	38	41	105	188
要介護 2	56	27	39	122	39	47	38	124	246
要介護 3	41	44	48	133	53	55	70	178	311
要介護 4	21	35	36	92	43	42	36	121	213
要介護 5	13	7	7	27	7	5	5	17	44
合計	162	146	149	457	168	187	190	545	1,002
稼働日数	25	27	26	78	26	27	26	79	157
月間定員(日数×定員)	250	270	260	780	260	270	260	790	1,570
利用率	64.8%	54.1%	57.3%	58.6%	64.6%	69.3%	73.1%	69.0%	63.8%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	18	16	13	47	2	0	13	15	62	250
要介護 2	47	42	38	127	54	52	63	169	296	542
要介護 3	75	51	63	189	62	49	36	147	336	647
要介護 4	48	47	46	141	39	38	39	116	257	470
要介護 5	19	36	34	89	29	21	20	70	159	203
合計	207	192	194	593	186	160	171	517	1,110	2,112
稼働日数	26	26	24	76	24	25	26	75	151	308
月間定員(日数×定員)	260	260	240	760	240	250	260	750	1,510	3,080
利用率	79.6%	73.8%	80.8%	78.0%	77.5%	64.0%	65.8%	68.9%	73.5%	68.6%

通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サ一ビス利用者状況

令和6年3月31日現在

月	要支援 1		要支援 2		要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合計				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
4月	0	0	0	0	68	133	201	166	27	85	112	17	31	48	22	50	189	388	577
5月	0	0	0	0	90	146	236	172	35	94	129	27	36	63	18	34	229	423	652
6月	0	0	0	0	90	161	251	150	29	91	120	31	34	65	16	35	207	430	637
7月	0	0	0	0	91	159	250	153	21	90	111	37	40	77	17	30	209	429	638
8月	0	0	0	0	91	177	268	172	24	101	125	26	42	68	19	37	203	486	689
9月	0	0	0	0	90	178	268	168	23	102	125	27	41	68	17	37	188	495	683
10月	0	0	0	0	81	137	218	151	33	102	135	21	39	60	17	56	183	485	668
11月	0	0	0	0	91	173	264	145	42	93	135	36	52	88	17	48	223	511	734
12月	0	0	0	0	87	156	243	131	37	112	149	33	45	78	16	44	208	488	696
1月	0	0	0	0	85	159	244	124	23	128	151	35	47	82	16	38	191	496	687
2月	0	0	0	0	88	174	262	126	22	131	153	41	54	95	16	44	208	529	737
3月	0	0	0	0	86	192	278	117	26	134	160	43	45	88	17	42	218	530	748
合計	0	0	0	0	1,038	1,945	2,983	1,503	342	1,263	1,605	374	506	880	208	473	2,456	5,690	8,146

支援・介護度分布状況

月	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	34.8	28.8	28.8	19.4	19.4	8.3	8.3	8.7	8.7	100.0	100.0
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	36.2	36.2	26.4	26.4	19.8	19.8	9.7	9.7	8.0	8.0	100.0	100.0
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	39.4	39.4	23.5	23.5	18.8	18.8	10.2	10.2	8.0	8.0	100.0	100.0
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	39.2	39.2	24.0	24.0	17.4	17.4	12.1	12.1	7.4	7.4	100.0	100.0
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	38.9	25.0	25.0	18.1	18.1	9.9	9.9	8.1	8.1	100.0	100.0
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	39.2	39.2	24.6	24.6	18.3	18.3	10.0	10.0	7.9	7.9	100.0	100.0
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	32.6	32.6	27.2	27.2	20.2	20.2	9.0	9.0	10.9	10.9	100.0	100.0
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	36.0	36.0	24.8	24.8	18.4	18.4	12.0	12.0	8.9	8.9	100.0	100.0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	34.9	34.9	23.9	23.9	21.4	21.4	11.2	11.2	8.6	8.6	100.0	100.0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5	35.5	22.7	22.7	22.0	22.0	11.9	11.9	7.9	7.9	100.0	100.0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	35.6	35.6	22.7	22.7	20.8	20.8	12.9	12.9	8.1	8.1	100.0	100.0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	37.2	37.2	21.8	21.8	21.4	21.4	11.8	11.8	7.9	7.9	100.0	100.0
平均	0.0	0.0	0.0	0.0	36.6	36.6	24.6	24.6	19.7	19.7	10.7	10.7	8.4	8.4	100.0	100.0

(単位:%)

総合事業・市基準通所型A 利用者状況

令和6年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0	20	0	4	0	32	0	56
5月	0	27	0	9	0	34	0	70
6月	0	19	0	6	0	37	0	62
7月	0	22	0	12	0	36	0	70
8月	0	21	0	9	0	39	0	69
9月	0	23	0	4	0	43	0	70
10月	0	17	0	3	0	27	0	47
11月	0	20	0	5	0	31	0	56
12月	0	19	0	2	0	19	0	40
1月	0	19	0	5	0	15	0	39
2月	0	12	0	7	0	17	0	36
3月	0	18	0	2	0	21	0	41
合計	0	237	0	68	0	351	0	656

支援・介護度分布状況

(単位:%)

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	35.7	35.7	7.1	7.1	57.1	57.1	100.0	100.0
5月	38.6	38.6	12.9	12.9	48.6	48.6	100.0	100.0
6月	30.6	30.6	9.7	9.7	59.7	59.7	100.0	100.0
7月	31.4	31.4	17.1	17.1	51.4	51.4	100.0	100.0
8月	30.4	30.4	13.0	13.0	56.5	56.5	100.0	100.0
9月	32.9	32.9	5.7	5.7	61.4	61.4	100.0	100.0
10月	36.2	36.2	6.4	6.4	57.4	57.4	100.0	100.0
11月	35.7	35.7	8.9	8.9	55.4	55.4	100.0	100.0
12月	47.5	47.5	5.0	5.0	47.5	47.5	100.0	100.0
1月	48.7	48.7	12.8	12.8	38.5	38.5	100.0	100.0
2月	33.3	33.3	19.4	19.4	47.2	47.2	100.0	100.0
3月	43.9	43.9	4.9	4.9	51.2	51.2	100.0	100.0
平均	37.8	37.8	10.4	10.4	51.8	51.8	100.0	100.0

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和6年3月31日現在

月	要支援1・2		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0	0	16	15	28	28	0	41	4	17	0	13	48	114
5月	0	0	17	16	18	9	1	43	18	17	0	7	54	92
6月	0	0	19	0	16	23	5	43	17	19	0	7	57	92
7月	0	0	26	0	14	25	4	49	17	26	0	7	61	107
8月	0	0	38	0	16	31	5	50	19	23	0	5	78	109
9月	0	0	41	0	17	21	4	66	17	19	0	5	79	111
10月	0	0	18	0	35	12	1	74	19	29	0	19	73	134
11月	0	0	16	0	33	9	0	51	17	30	0	36	66	126
12月	0	0	13	0	29	9	0	63	14	32	0	34	56	138
1月	0	0	2	0	42	12	0	62	14	25	0	29	58	128
2月	0	0	0	0	40	12	0	48	15	23	0	21	55	104
3月	0	0	8	5	46	17	0	36	16	23	0	20	70	101
合計	0	0	214	36	334	208	20	626	187	283	0	203	755	1,356

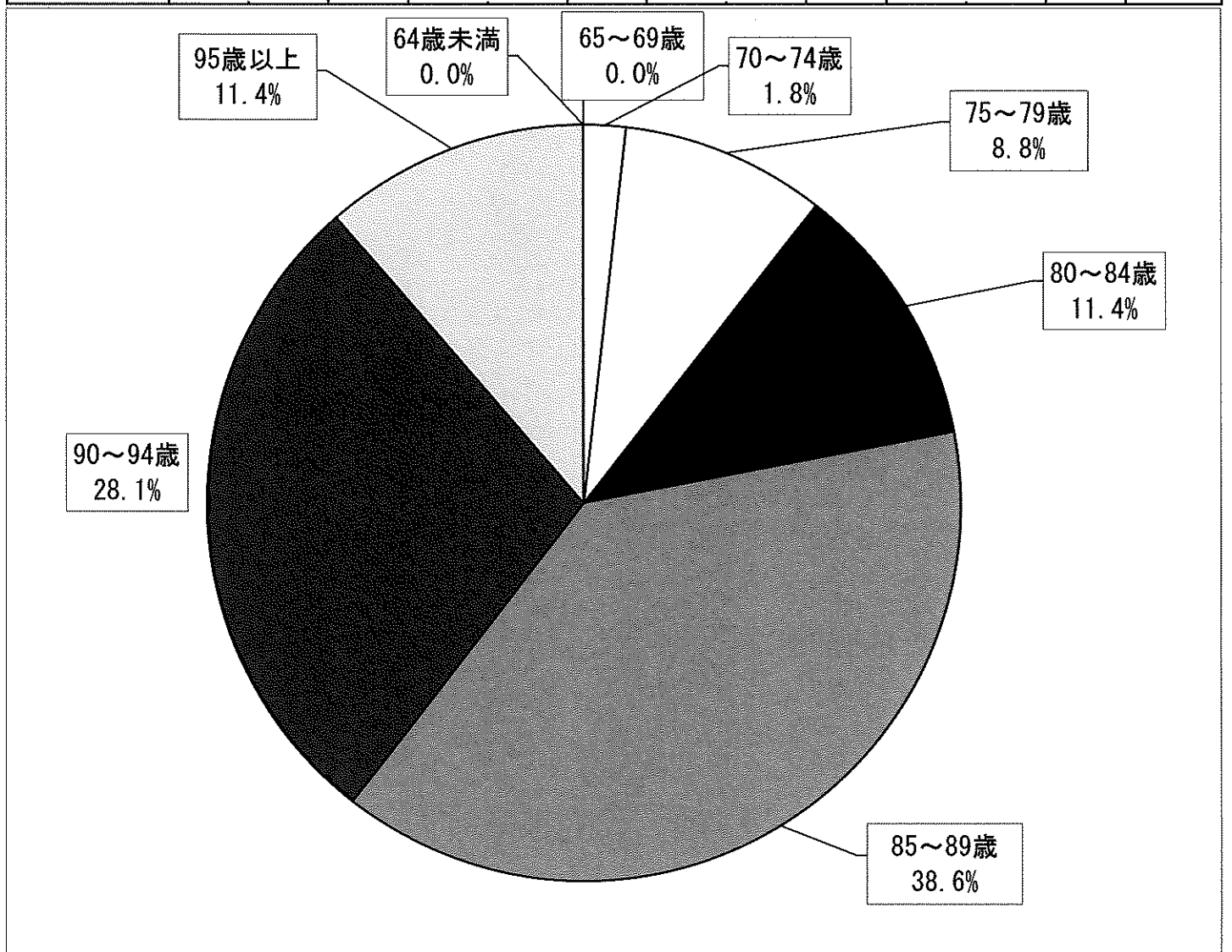
支援・介護度分布状況

月	要支援1・2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	0.0	0.0	19.1	19.1	34.6	34.6	25.3	25.3	13.0	13.0	8.0	8.0	100.0	100.0
5月	0.0	0.0	22.6	22.6	18.5	18.5	30.1	30.1	24.0	24.0	4.8	4.8	100.0	100.0
6月	0.0	0.0	12.8	12.8	26.2	26.2	32.2	32.2	24.2	24.2	4.7	4.7	100.0	100.0
7月	0.0	0.0	15.5	15.5	23.2	23.2	31.5	31.5	25.6	25.6	4.2	4.2	100.0	100.0
8月	0.0	0.0	20.3	20.3	25.1	25.1	29.4	29.4	22.5	22.5	2.7	2.7	100.0	100.0
9月	0.0	0.0	21.6	21.6	20.0	20.0	36.8	36.8	18.9	18.9	2.6	2.6	100.0	100.0
10月	0.0	0.0	8.7	8.7	22.7	22.7	36.2	36.2	23.2	23.2	9.2	9.2	100.0	100.0
11月	0.0	0.0	8.3	8.3	21.9	21.9	26.6	26.6	24.5	24.5	18.8	18.8	100.0	100.0
12月	0.0	0.0	6.7	6.7	19.6	19.6	32.5	32.5	23.7	23.7	17.5	17.5	100.0	100.0
1月	0.0	0.0	1.1	1.1	29.0	29.0	33.3	33.3	21.0	21.0	15.6	15.6	100.0	100.0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	32.7	30.2	30.2	23.9	23.9	13.2	13.2	100.0	100.0
3月	0.0	0.0	7.6	7.6	36.8	36.8	21.1	21.1	22.8	22.8	11.7	11.7	100.0	100.0
平均	0.0	0.0	12.0	12.0	25.9	25.9	30.4	30.4	22.3	22.3	9.4	9.4	100.0	100.0

利用者の年齢構成

令和6年3月31日現在

事業 年齢	通所介護			総合事業			認知症対応型 通所介護			合計			構成比 %
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
64歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
70～74歳	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1.8
75～79歳	3	4	7	0	1	1	0	2	2	3	7	10	8.8
80～84歳	3	6	9	0	2	2	2	0	2	5	8	13	11.4
85～89歳	7	29	36	0	1	1	1	6	7	8	36	44	38.6
90～94歳	5	18	23	0	3	3	3	3	6	8	24	32	28.1
95歳以上	5	5	10	0	0	0	1	2	3	6	7	13	11.4
合計	24	62	86	0	8	8	7	13	20	31	83	114	100.1



区分 月	実利用者数(人)						延利用者数(人)						実施日数 (日)	1日平均 利用者数 (人)	摘要		
	一般入浴			機械入浴			一般入浴			機械入浴						延利用者 合計(人)	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
4月	7	27	34	8	16	24	58	45	141	186	28	84	112	298	25	11.9	
5月	7	22	29	5	17	22	51	48	128	176	37	92	129	305	27	11.3	
6月	9	23	32	5	16	21	53	53	134	187	31	89	120	307	26	11.8	
7月	10	24	34	4	15	19	53	63	145	208	27	92	119	327	26	12.6	
8月	9	27	36	6	15	21	57	67	174	241	32	96	128	369	27	13.7	
9月	10	28	38	5	15	20	58	63	179	242	29	98	127	369	26	14.2	
10月	9	29	38	7	17	24	62	52	159	211	33	120	153	364	26	14.0	
11月	10	27	37	6	17	23	60	66	177	243	38	112	150	393	26	15.1	
12月	10	28	38	6	19	25	63	66	150	216	32	124	156	372	24	15.5	
1月	11	27	38	6	20	26	64	62	158	220	29	114	143	363	24	15.1	
2月	12	30	42	8	17	25	67	73	165	238	31	106	137	375	25	15.0	
3月	12	32	44	5	16	21	65	87	173	260	29	97	126	386	26	14.8	
合計	116	324	440	71	200	271	711	745	1,883	2,628	376	1,224	1,600	4,228	308	13.7	

曜日別 年間実績表

		通所定員 35人		通所A定員 5人		認知定員 10人		定員合計 50人	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
4月	月	102	72.9	12	60.0	24	60.0	138	69.0
	火	105	75.0	8	40.0	27	67.5	140	70.0
	水	82	58.6	7	35.0	27	67.5	116	58.0
	木	105	75.0	8	40.0	25	62.5	138	69.0
	金	72	51.4	7	35.0	26	65.0	105	52.5
	土	111	63.4	14	56.0	33	66.0	158	63.2
5月	月	133	76.0	14	56.0	28	56.0	175	70.0
	火	132	75.4	14	56.0	22	44.0	168	67.2
	水	100	57.1	10	40.0	28	56.0	138	55.2
	木	113	80.7	9	45.0	22	55.0	144	72.0
	金	79	56.4	11	55.0	24	60.0	114	57.0
	土	95	67.9	12	60.0	22	55.0	129	64.5
6月	月	97	69.3	11	55.0	21	52.5	129	64.5
	火	114	81.4	12	60.0	20	50.0	146	73.0
	水	96	68.6	8	40.0	27	67.5	131	65.5
	木	133	76.0	9	36.0	30	60.0	172	68.8
	金	108	61.7	11	44.0	30	60.0	149	59.6
	土	89	63.6	11	55.0	21	52.5	121	60.5
7月	月	143	81.7	14	56.0	26	52.0	183	73.2
	火	103	73.6	13	65.0	25	62.5	141	70.5
	水	98	70.0	8	40.0	27	67.5	133	66.5
	木	101	72.1	8	40.0	29	72.5	138	69.0
	金	85	60.7	12	60.0	31	77.5	128	64.0
	土	108	61.7	15	60.0	30	60.0	153	61.2
8月	月	107	76.4	12	60.0	22	55.0	141	70.5
	火	141	80.6	10	40.0	31	62.0	182	72.8
	水	116	66.3	10	40.0	40	80.0	166	66.4
	木	139	79.4	9	36.0	43	86.0	191	76.4
	金	95	67.9	16	80.0	25	62.5	136	68.0
	土	91	65.0	12	60.0	26	65.0	129	64.5
9月	月	114	81.4	12	60.0	28	70.0	154	77.0
	火	109	77.9	10	50.0	21	52.5	140	70.0
	水	109	77.9	8	40.0	33	82.5	150	75.0
	木	107	76.4	8	40.0	32	80.0	147	73.5
	金	131	74.9	17	68.0	40	80.0	188	75.2
	土	113	64.6	15	60.0	36	72.0	164	65.6
10月	月	140	80.0	10	40.0	30	60.0	180	72.0
	火	133	76.0	11	44.0	32	64.0	176	70.4
	水	95	67.9	4	20.0	42	105.0	141	70.5
	木	112	80.0	6	30.0	32	80.0	150	75.0
	金	96	68.6	4	20.0	34	85.0	134	67.0
	土	92	65.7	12	60.0	37	92.5	141	70.5

曜日別 年間実績表

		通所定員 35人		通所A定員 5人		認知定員 10人		定員合計 50人	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
11月	月	124	88.6	12	60.0	25	62.5	161	80.5
	火	115	82.1	10	50.0	28	70.0	153	76.5
	水	133	76.0	7	28.0	38	76.0	178	71.2
	木	157	89.7	8	32.0	30	60.0	195	78.0
	金	101	72.1	7	35.0	34	85.0	142	71.0
	土	104	74.3	12	60.0	37	92.5	153	76.5
12月	月	123	87.9	8	40.0	28	70.0	159	79.5
	火	124	88.6	10	50.0	33	82.5	167	83.5
	水	115	82.1	4	20.0	28	70.0	147	73.5
	木	129	92.1	3	15.0	27	67.5	159	79.5
	金	107	76.4	3	15.0	40	100.0	150	75.0
	土	98	70.0	12	60.0	38	95.0	148	74.0
1月	月	131	93.6	4	20.0	28	70.0	163	81.5
	火	120	85.7	14	70.0	24	60.0	158	79.0
	水	113	80.7	3	15.0	31	77.5	147	73.5
	木	118	84.3	0	0.0	33	82.5	151	75.5
	金	113	80.7	6	30.0	33	82.5	152	76.0
	土	92	65.7	12	60.0	37	92.5	141	70.5
2月	月	132	94.3	4	20.0	20	50.0	156	78.0
	火	116	82.9	14	70.0	23	57.5	153	76.5
	水	122	87.1	0	0.0	25	62.5	147	73.5
	木	150	85.7	0	0.0	36	72.0	186	74.4
	金	116	82.9	10	50.0	28	70.0	154	77.0
	土	101	72.1	8	40.0	27	67.5	136	68.0
3月	月	132	94.3	4	20.0	19	47.5	155	77.5
	火	120	85.7	13	65.0	25	62.5	158	79.0
	水	118	84.3	0	0.0	29	72.5	147	73.5
	木	112	80.0	0	0.0	30	75.0	142	71.0
	金	138	78.9	14	56.0	31	62.0	183	73.2
	土	128	73.1	10	40.0	37	74.0	175	70.0
年間	月	1,478	83.0	117	45.6	299	58.8	1,894	74.4
	火	1,432	80.4	139	55.0	311	61.3	1,882	74.0
	水	1,297	73.1	69	26.5	375	73.7	1,741	68.5
	木	1,476	81.0	68	26.2	369	71.1	1,913	73.5
	金	1,241	69.4	118	45.7	376	74.1	1,735	68.0
	土	1,222	67.3	145	55.9	381	73.7	1,748	67.4

7. ホームヘルプ事業

事業所の安定運営を図るため、新規利用者の獲得に力を入れ年間 80 件の新規依頼を受けた。年度目標として身体介護 3,600 時間/年としたが、4,700 時間を超え大幅に目標を超える時間数となった。新規依頼の獲得からケアマネとの関係づくりを行い、複数の依頼をいただけるようになってきている。

登録ヘルパー 1 人、認定ヘルパー 1 人を新規採用し、その後登録ヘルパー 1 人を常勤採用することができた。認定ヘルパー 1 人が介護職員初任者研修を修了し登録ヘルパーに変更となる。また常勤ヘルパーの勤務時間を延ばし働ける枠を増やすなど、ヘルパーの稼働時間増に取り組んだ。また、3月末をもって 2 人のヘルパーが年齢等を理由に退職した。

令和 6 年 4 月からの職員体制として、サービス提供責任者が 5 人、常勤ヘルパー 3 人、非常勤ヘルパー 2 人、登録ヘルパー 14 人、認定ヘルパーが 6 人となり、計 30 人の職員体制となる。

1	目 標	専門職として知識や技術の向上を図る
	評 価	① 毎月の定例会の中でテーマを決めて研修会を実施した。 ② ヘルパー自身が支援の難しさや悩みなどを話す機会を作り、他のヘルパーとの共有を通して一人で抱え込まずに相談できる体制づくりに取り組んだ。 ③ 職員全員の個別研修計画を立て、研修や個人面談を通して資質の向上に努めた。
2	目 標	介護支援専門員及び関係事業所との連携を強化する
	評 価	① MCSやケアマネへの状況報告を密に行うことで、連携の向上を図る事ができ、新規利用者の依頼増に繋がっている。年間平均50件⇒80件に増加。 ② 支援困難なケースも積極的に受け入れを実施しサービス提供に繋げることで、事業所としての対応力の向上にも繋がっている。 ③ ヘルパー事業所連絡会は開催がなく、来年度に向けて合同での研修会の実施などについて提案を検討している。
3	目 標	事故防止への取り組み
	評 価	① 定例会の中で毎月事故報告を行い、事故が起きた原因や対応策についてヘルパー全員で共有する事で事故防止に努めた。
4	目 標	事業継続計画の策定
	評 価	① 感染症及び災害に対しての事業継続計画を策定し、3月に更新を実施した。より具体的な計画となるよう今後も見直しを行っていく。 ② BCP の研修を来年度の研修計画に位置付けて、年 1 回の研修を計画的に実施していく。

令和5年度 ホームヘルプサービス実績報告(時間数)

目標値：身体介護3600時間/年

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		第2四半期小計		前期計				
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度			
延べ訪問時間																			
身体介護	312.00	289.66	376.58	273.50	367.83	276.30	1,056.41	839.46	372.25	270.41	407.83	287.90	400.75	275.17	1,180.83	833.48	2,237.24	1,672.94	
生活援助	302.75	304.50	336.67	304.00	338.25	323.10	977.67	931.60	334.50	312.00	389.33	333.80	361.17	348.58	1,085.00	994.38	2,062.67	1,925.98	
訪問型独自	11.25	9.00	19.25	9.50	16.25	13.00	46.75	31.50	24.00	15.25	39.25	15.00	47.50	8.75	110.75	39.00	157.50	70.50	
訪問型定率	67.00	60.42	96.50	72.75	97.00	73.00	260.50	206.17	101.75	77.50	103.75	91.80	106.50	85.00	312.00	254.30	572.50	460.47	
保険対象外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	3.00	0.50	3.00	
計	693.00	663.58	829.00	659.75	819.33	685.40	2,341.33	2,008.73	832.50	678.16	940.66	728.50	915.92	717.50	2,688.58	2,124.16	5,030.41	4,132.89	
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		第4四半期小計		後期計		総計		
身体介護	419.83	234.17	427.58	263.42	418.00	261.75	1,265.41	759.34	412.75	207.58	391.25	220.67	441.00	281.33	1,245.00	709.58	2,510.41	1,468.92	3,141.86
生活援助	367.08	332.08	353.33	339.92	338.25	336.00	1,058.66	1,008.00	316.25	308.17	328.42	319.17	327.42	370.00	972.09	997.34	2,030.75	2,005.34	4,093.42
訪問型独自	45.75	9.00	38.25	16.25	30.50	19.75	114.50	45.00	28.25	20.00	25.00	11.00	34.25	12.75	87.50	43.75	202.00	88.75	359.50
訪問型定率	116.50	83.25	116.00	99.25	110.65	90.50	343.15	273.00	99.67	76.25	103.66	71.00	107.67	70.75	311.00	218.00	654.15	491.00	1,226.65
保険対象外	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	3.50	1.25	0.00	7.83	3.50	1.00	7.00	10.08	7.50	10.08	8.00
計	949.16	626.40	935.66	670.15	897.40	640.35	2,782.22	2,085.34	860.42	616.75	848.33	666.60	913.84	730.58	2,622.59	1,978.75	5,404.81	4,064.09	8,196.98

8. 地域包括支援センター

1	<p>目 標</p> <p>評 価</p>	<p><介護予防普及啓発事業・介護予防活動推進事業> 介護予防の基本的な知識と普及啓発をするための事業を実施する</p> <p>① 介護予防教室は年間36回、うちオンラインとのハイブリット開催を24回実施した。新たに多世代・多機能型交流拠点支援事業（以下「ふらっとなんぶ」という。）をサブ会場として開設できた。</p> <p>② 地域リハビリテーション活動支援事業として、市民向け、団体活動者向け、運動推進員向けに「こまえ体操」の普及啓発活動講座を開催した。また、リハ職への単体相談の機会として個別相談の機会を設けた。</p> <p>③ 自主グループ活動である「歩こう会」は運動推進員の活用により参加者も増え、安定した活動となった。「園芸ボランティア」は認知症を抱えた方の参加が多いため認知症支援事業などとの協働も視野に入れながら継続支援を行っている。</p> <p>④ 圏域のコミュニティー紙である「いこいの便り」を年4回発行した。発行から3年目となり、介護予防、生活支援の情報源として定着し、紙面の情報がきっかけで介護予防活動につながった方もいた。</p> <p>⑤ シニア向けのスマホ教室を開催した。申し込みが定員を超えたため、来年度も開催予定としている。ちょこっとサービスに関するチラシを作成し、市民への認知度も上がっている。</p>
2	<p>目 標</p> <p>評 価</p>	<p><介護予防ケアマネジメント> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する市民からの相談対応、各種案内を行い、適切なケアマネジメントを実施する</p> <p>① 月200～210件の介護予防ケアマネジメントを実施。委託件数は20件前後と同様の傾向となっている。ケアマネジメント以外の事業が増大する中、業務の整理やバランスが今後も課題となっている。</p>
3	<p>目 標</p> <p>評 価</p>	<p><総合相談支援事業> 複雑化する高齢者の相談に対して総合的な相談機能の強化を図る</p> <p>① 年間延べ9,502件（前年度7,995件）の相談に対応した。相談内容区分では、総合相談、予防プランに関する事が多かった。増加率では、包括的ケアマネジメントと権利擁護が高かった（別紙集計表⑧、⑩）。相談区分で最も多い総合相談の詳細では、ターミナル期の支援、精神疾患に起因する生活障害、認知症による生活障害の増加率が高かった（別紙集計表⑪）。複合的な課題や専門性が求められる相談が増加となっている。この傾向は今後も続くと予想され、地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム、重層的支援体制整備事業などを積極的に活用し、多機関と協働しながらの対応が必要である。</p> <p>② 地域の関係者からの相談にも速やかに対応した。</p> <p>③ ふらっとなんぶと連携し、ケース対応や地域課題の把握・抽出を行った。</p> <p>④ 住まい探しの相談窓口への同席、ふらっとなんぶでのアウトリーチで抽出されたケースへの介入、大型マンションへの包括支援センターの周</p>

		知活動など、相談を待つだけではない体制も進めた。
4	目 標	<権利擁護事業> 高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活できるように支援を行う
	評 価	① 年間延べ191件（前年度177件）の虐待対応を行った。疑いを含む新規の受理会議は12件（前年度7件）と年々増加傾向となっている。通報者はケアマネが最も多く、専門職として虐待防止という知識・意識が高まっており、早期発見・早期対応につながっていると考えられる。 ② 複合的な課題を抱えたケースに対しては、高齢分野以外の支援者ともMCSなどのツールも活用しながら対応した。 ③ 成年後見制度に関する対応は年間延べ67件（前年度67件）の相談に対応した。あんしん狛江と連携を取りながら対応しているが、身寄りのない高齢者が増加しており、成年後見制度の需要も増えていることから包括での対応スキルの向上が必要となっている。 ④ 消費者被害に関する対応は、年間20件（前年度10件）の相談に対応した。対応件数の増加に対し、普及啓発として市民向けの講座を開催したが参加者は少なく「我が事」としての意識の薄さが課題として浮き彫りになった。
5	目 標	<包括的・継続的ケアマネジメント支援事業> 地域の介護支援専門員が、包括的・継続的なケアマネジメントを実践できるようスキルアップを支援する
	評 価	① 介護支援専門員からの相談は年間のべ420件（前年度243件）と増加している。介護保険サービス以外の課題を抱えた困難なケースが増えている事が伺える。後方支援として、支援方針の検討、助言、同行訪問等を行った。 ② 介護支援専門員向けのステップアップ講座を動画配信方式で年2回行った。事例検討会も集合形式で年1回行った。 ③ 地域ケア会議は支援推進会議7件、自立支援型会議1件を開催した。理学療法士、栄養士、コミュニティーソーシャルワーカーをアドバイザーとして招聘し、より専門性の高いアドバイスを受けることができた。これらの実績から抽出された地域課題について、幹事会で「課題整理を行い、特に優先順位の高かった「障がいサービスとの連携」という課題に対し、研修会などを実施する事ができた。
6	目 標	<在宅医療・介護連携推進事業> 高齢者が安心して住みなれた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の切れ目のない連携体制を構築していく
	評 価	① 窓口の周知活動はリーフレットを郵送し、最近の相談対応事例などを情報提供した。対面方式での周知活動はできなかった。 ② 個別相談は年間92件（前年度58件）の相談に対応した。市内の医療機関、訪問診療、転院・入所に関する問い合わせが多かった。まちかど保健室は、本事業が市民向けの窓口ではないとの判断から開催できなかった。

		た。 ③ 地域の医療介護連携や資源に関する情報収集は思うように活動ができず課題となっている。
7	目 標	<認知症総合支援事業> 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らす事ができるよう、認知症に理解ある地域づくりを目指す
	評 価	① 認知症連携会議、コーディネーター連絡会へ参加し、認知症施策についての協議を行った。 ② 認知症サポーター養成講座1回（参加者10人）、ステップアップ講座1回（参加者16人）を実施した。 ③ 初期集中支援チームの実働はなかったが、連携会議で2件のケース相談をし、専門家チームからアドバイスを受けながら対応することができた。 ④ もの忘れ相談会では6件の相談に同席し、その後の専門医への受診や介護保険サービスなど継続支援に繋がっている。 ⑤ 「介護者のおしゃべり会」を毎月開催した。年2回のイベントも開催した。 ⑥ 「せせらぎのつどい」を毎月実施し、おしゃべり会と共に開催場所をふらっとなんぶでも行うことで新規参加の拡大を目指した。 ⑦ 「本人ミーティング」は3回予定したが、参加者がおらず実施できなかった回もあったため2回の開催となった。 ⑧ ふらっとなんぶでの出張相談会は、⑤⑥などの事業開催時に実施できた。
8	目 標	<家族介護支援事業> 現役の介護者やこれから介護に係る世代にも役立つ知識や技術を提供する
	評 価	① 「私はだまされない！？～最近の巧妙な詐欺被害とその対処法～」 「うちの両親が、私が急に入院！？～入院中の相談から退院後の生活の相談まで～」というテーマで年2回開催した。いずれも集合とオンラインのハイブリッド方式で開催した。
9	目 標	<市の一般給付事業に係る申請支援、アセスメントの実施> 福祉用具、住宅改修訪問調査業務、市の一般給付事業に係る申請支援、アセスメントを適正に実施する
	評 価	① 別紙集計表⑥の通り、年間41件の申請支援、アセスメントを実施した。
10	目 標	<多世代・多機能型交流拠点新事業（ふらっとなんぶ）> 地域の高齢者の孤立防止、介護予防、活躍の場となるよう居場所や交流の場を提供する。来所だけでなく訪問も可能な相談窓口機能を果たす。新規立ち上げ事業であるため、まずは地域に知ってもらう事を目標とする。
	評 価	① フリースペースの利用者はのべ726人（月平均60人）だった。居場所の提供だけでなく、健康マージャンや庭での野菜栽培などの活動も提供できた。

	<p>② ギャラリースペースでは、写真や手工芸などを展示し、展示された作品を実際に作りたいとの要望からワークショップも開催できた。</p> <p>③ 今年度は85歳以上の独居高齢者を対象にアウトリーチを実施した（別紙集計表⑫）。住基台帳上の85歳以上の独居高齢者から包括支援センターなどの介入の履歴がある方を除いた132件（延べ183件）を訪問した。介護保険申請や定期的な見守りに繋がるなどの成果が得られている。一方で訪問した約半数は家族と同居、施設入所など対象外の世帯という結果だった。これらは事前に把握できない情報であるため効率化が図れない上に戸建てが多い特性から、移動距離を含め、地道なアプローチが必要となる。</p> <p>④ 高齢者支援に関するパンフレットなどを常設している。</p> <p>⑤ サテライト会場を含む介護予防教室16回、歩こう会9回を実施できた。他、体力測定や栄養相談なども行い、身近な介護予防の場として周知されてきている。</p>
--	---

令和5年度 年間相談実績集計表

①相談区分、所属

	新規	継続	計
区分	363	9,139	9,502

	自社	委託	その他	計
所属	4,172	65	5,265	9,502

②相談形態

	電話	来所	訪問	会議	文書	FAX	その他	メール	計
相談方法	5,302	487	1,893	312	181	393	695	239	9,502

③介護度

介護保険	実数	延べ人数
支援1	1,155	1,804
支援2	1,711	2,419
要介護1	652	1,055
要介護2	370	622
要介護3	202	356
要介護4	175	290
要介護5	82	111
非該当	5	7
事業対象者	299	398
未申請	702	986
申請中	700	1,272
不明	150	182
計	6,203	9,502

④年齢

	実数	延べ人数
64歳以下	271	525
65～69歳	169	279
70～74歳	577	999
75～79歳	781	1,178
80～84歳	1,439	2,156
85～89歳	1,756	2,864
90歳以上	960	1,437
不明	56	64
計	6,009	9,502

⑤相談者

本人	配偶者	子供	子供の配偶者	兄妹	孫	その他家族	知人	市役所
3,999	509	970	96	45	6	79	22	615
保健所	警察	消防	民生	地域住民	医療機関	ケアマネ	サービス提供	匿名
8	19	1	43	11	588	857	1,366	1
社協	その他	地域包括	あんしん狛江	ふらっとなんぶ	計			
74	129	39	17	8	9,502			

⑥申請代行（市役所）

日常生活用具	6
自立支援住宅改修(予防改修・設備改修)	1
理美容サービス	4
認知症高齢者位置情報提供サービス	2
介護用品支給他	20
あんしんS（緊急通報システム）	2
救急代理通報システム事業	6
ゴミ出しサポート事業	0
合計	41

⑦申請代行（介護保険）

介護保険（要介護・要支援）認定申請書 新規・更新・変更	386
介護(予防)サービス計画書届出書 予・居	157
住宅改修	14
福祉用具購入	0
福祉用具貸与	0
軽度者申請 福祉用具	5
介保負担限度額認定	0
高額介護	0
特別給付	0
負担限度額	4
情報提供申請書兼同意書	198
チェックリスト	13
合計	777

⑧相談内容（延べ件数・重複記載）

令和6年3月31日現在

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
総合相談	地域包括のみ		93	95	105	109	71	80	72	53	69	69	56	52	924	4,269
	その他機関		90	140	97	110	102	96	97	77	94	67	49	43	1,062	
	その他		156	177	217	203	195	182	194	209	214	158	173	205	2,283	
予防ケアプラン	サービス内容		149	200	195	198	202	170	176	179	194	204	194	164	2,225	4,023
	サービス担当者		34	36	29	28	24	28	27	31	24	24	11	31	327	
	その他		72	121	136	118	127	106	129	143	145	140	113	121	1,471	
虐待	措置入所の実施		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時避難		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅改修	自宅訪問		1	2	1	2	0	1	0	1	2	0	2	1	13	16
	改修実施		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3	
権利擁護	成年後見制度		2	3	10	9	7	7	6	4	3	2	8	6	67	483
	高齢者虐待		25	31	15	6	18	25	16	7	11	2	12	23	191	
	老人福祉施設		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	困難事例		29	23	17	15	10	1	8	7	5	6	7	10	138	
	消費者被害		0	3	2	1	4	2	0	1	1	2	4	0	20	
	地域権利擁護		1	1	0	0	0	2	0	2	3	4	2	2	17	
	その他		8	8	6	4	1	0	6	0	2	3	6	6	50	
包括ケアマネジメント	CMからの相談		31	25	36	62	38	40	50	35	23	29	29	22	420	479
	関係機関		0	3	2	4	5	3	5	5	7	16	7	2	59	
	包括からの相談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成年後見	親族申立														0	0
	市区町村申立														0	
合計			691	868	868	869	804	743	787	754	798	727	673	688	9,270	9,270

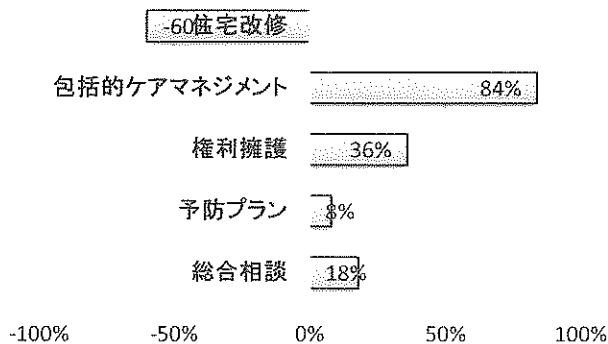
⑨予防ケアプラン<新規及び終了者数>

右側カッコ内は委託数の再掲

月	区分	ケアプラン作成数	新規	終了				
				非該当	介護給付へ移行	施設入所	死去	その他
4月		200 (22)	11 (2)		2			2
5月		196 (18)	7 (1)		6 (4)			1
6月		197 (18)	7 (4)		5 (1)			1
7月		208 (18)	11		1		1	1
8月		204 (19)	6		2			
9月		208 (19)	3		4			1
10月		215 (19)	7		4			
11月		207 (18)	7		4			2
12月		203 (17)	7		7			1
1月		202 (16)	6		3	1	1	1
2月		192 (16)	4		5		1	
3月		198 (16)	10		3			3
合計		2,430 (216)	86 (7)	0 (0)	46 (5)	1 (0)	3 (0)	13 (0)

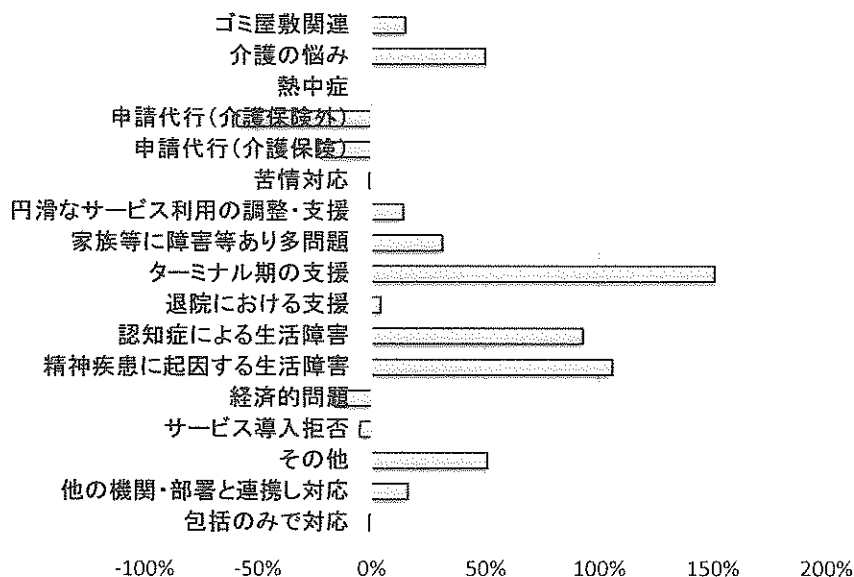
⑩相談内容（⑧）の前年度比

相談内容増加率



⑪ ⑩における「総合相談」の項目別前年度比

総合相談内容増加率



⑫ふらっとなんぶでのアウトリーチ実績

	住基台帳上での85歳以上独居	訪問対象	延訪問回数	同居	新規申請	継続訪問	施設	逝去	転居	住所不明	その他
駒井町1丁目	56	18	24	6	1	2	1				
駒井町2丁目	22	6	11	4	1	0					空き家1件
駒井町3丁目	39	17	26	9		1	1			1	
猪方1丁目	21	9	17	3			2	1	1		
猪方2丁目	34	7	9	5							
猪方3丁目	65	16	22	6	1		3			1	
岩戸南1丁目	43	8	9	5			1				立替中、 建売2棟
岩戸南2丁目	64	18	27	10			2				
岩戸南3丁目	65	19	24	4			1	2			
岩戸南4丁目	45	14	14								
合計	409	132	183	52	3	3	11	3	1	2	

9. 居宅介護支援事業所

1	目 標	要介護状態にある高齢者等の生活を支援していくために、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを提供し、安定した事業所運営を図る
	評 価	<p>① 特定事業所加算Ⅱを算定し、年間を通して主任介護支援専門員2人及び介護支援専門員4人の計6人体制で運営を継続した。平均担当件数は32.6件となり、前年度より330万円程の収入増となった。</p> <p>② 夜間休日のオンコール体制を継続し、利用者及び家族の相談対応や緊急の支援調整などを行った。</p> <p>③ 毎週の定期ミーティングで担当外の利用者の状況を共有し、担当者不在の場合にも適切な対応をとることができている。また、苑会議や合同会議などで報告を行い、職員間での情報共有に活かすことができた。</p> <p>④ 職員間でマネジメントの手順について差が生じないように、随時相談や共有を行いながら業務の効率化に繋げていくことができた。</p> <p>⑤ 地域包括支援センターからの支援困難ケースも適時受け入れを行い、関係機関と連携を取りながら必要な支援を行った。</p> <p>⑥ 他法人と合同で災害時のBCPについて勉強会を行い、課題を共有するとともにBCPの作成に取り組んだ。</p>
2	目 標	職員の資質向上及び人材育成に取り組む
	評 価	<p>① 地域包括主催のケアマネステップアップ研修（年5回）やオンライン事例検討会（年3回）に参加し、職員の資質向上に努めた。また、事例検討会では主任介護支援専門員がファシリテーターを務めた。その他、キャラバンメイトなど認知症サポーター養成講座の指導者研修も1人が受講した。</p> <p>② 介護支援専門員実務研修生については、令和5年8月と令和6年2月に計2人の受け入れを行い専門職の育成・指導を行った。</p> <p>③ 主任介護支援専門員更新研修を1人、介護支援専門員更新研修（専門Ⅰ2人、専門Ⅱ3人）計5人が受講し、資格の更新に必要な要件を満たした。また、主任介護支援専門員2人は更新要件となる年間4回の研修会参加を実施し要件を満たしている。</p>
3	目 標	地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の関連団体との連携を強化していく
	評 価	<p>① 狛江市介護支援専門員連絡会に参加し、職能団体の運営に携わり、狛江市内の事業所間の連携に努めた。</p> <p>② 主任介護支援専門員の連絡会には2人が参加し、地域課題の抽出や事例検討会でのファシリテーターなど介護支援専門員の育成に協力した。</p> <p>③ 医療と介護の連携を図るため、MCSの活用や国のデータ連携を活用し、事業所間の実績データの送受信などを実施した。</p> <p>④ 他法人との合同研修会については、6月に災害時のBCPをテーマに集合で研修会を実施することができた。</p>

(1) 居宅介護支援事業利用状況

令和5年度

1) 加算対象(年間延べ件数)

初回	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院退所 ⅠⅠ	退院退所 ⅠⅡ	退院退所 ⅡⅠ	退院退所 ⅡⅡ	退院退所 Ⅲ	通院時情 報連携加 算
68	34	7	6	3	2	0	0	12
小規模 多機能型 連携	中山間地 加算	看小多機 能連携	緊急時等 カンファ	ターミナ ル加算	特定事業 所加算Ⅱ	特定事業 所加算Ⅲ	運営基準 減算	
0	0	0	0	1	2,340	0	0	

2) 認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	1	3	3	0	1	1	1	0
1月	2月	3月	合計					
1	2	5	19					

3) 自事業所利用割合

*訪問介護	*通所介護	認知症通所介護	短期入所
59.8%	48.9%	56.5%	55.5%

*特定事業所集中減算対象(一定条件のもと80%超は減算)

令和5年度 居宅介護支援事業実績

目標値:ケアマネ常勤換算一人あたり 35件

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要介護 1	71	70	69	210	69	68	66	203	413
要介護 2	58	58	58	174	58	57	57	172	346
要介護 3	39	41	39	119	41	43	42	126	245
要介護 4	18	17	21	56	19	17	17	53	109
要介護 5	10	11	11	32	13	11	12	36	68
計	196	197	198	591	200	196	194	590	1,181
常勤換算/人	6.0	6.0	6.0		6.0	6.0	6.0		
一人あたり件数	32.7	32.8	33.0	32.8	33.3	32.7	32.3	32.8	32.8

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要介護 1	60	65	63	188	63	63	61	187	375	788
要介護 2	56	59	61	176	61	59	59	179	355	701
要介護 3	43	43	44	130	41	42	37	120	250	495
要介護 4	17	18	19	54	20	19	16	55	109	218
要介護 5	13	14	14	41	13	11	11	35	76	144
計	189	199	201	589	198	194	184	576	1,165	2,346
常勤換算/人	6.0	6.0	6.0		6.0	6.0	6.0			
一人あたり件数	31.5	33.2	33.5	32.7	33.0	32.3	30.7	32.0	32.4	32.6

(保留3件)